

## 「八幡社」の地勢が「川端」の確率

© 2022 Kagetsu Kinoue

※大河川の場合は川から500m、中河川の場合は300m、小河川の場合は100m、小川の場合は50mを「川端」の目安とします。河岸段丘も川幅として考慮します。

※神社は合祀令等、統廃合が激しいので、江戸期以前創建のものに限り、創建時期や由緒が不明なものは統計に入れません。数字は創建年。

※城、屋敷に付属の神社、境内社は、統計に入れません。

神社名	創建	時代区分	所在地	地勢	川端判定	「八幡神社」が「川端」の確率
井草八幡宮	縄文、平安末期	奈良以前	杉並区	※川端。原始信仰から神社。	◎	
貴志川八幡宮	原始信仰	奈良以前	紀の川市貴志川町岸里	※奥宮は鳩羽山頂にあった。原始信仰の跡が残る。また、古代紀ノ川の流路は現在とは異なり、鳩羽山ふもとにはその支流が流れていた。	×	
蒲田八幡神社	古代祭祀、原始信仰	奈良以前	大田区	※川端。	◎	
廣旗八幡宮	紀元前	奈良以前	北九州市八幡西区	※楠橋立石で創祀。川端。聖武天皇の代、現在地に社殿築造。	◎	
木本八幡宮	神武天皇	奈良以前	和歌山市木ノ本	※川端ではない。神武天皇は存在しない。スサノオか、崇神天皇か。日前神宮國懸神宮の前身。もともと八幡宮ではない。統計に入れない。	△	
武水別神社	第八代孝元天皇	奈良以前	千曲市	※川端。由緒には孝元天皇の頃の紀元前の創建とあるが、孝元天皇は卑弥呼の兄なので、2世紀後半～3世紀中ごろの人物。	◎	
越中護国八幡宮	第十一代垂仁天皇84年	奈良以前	富山市	※川端。垂仁天皇の頃は、邪馬台国を継いだ台与の事績を隠蔽して物語が創作されている可能性が高いので、根本的に信用できない。由緒には越の国の凶賊である阿彦を討伐したとあるが、各地で語られる討伐物語は、基本的に先住民とヤマトの戦い。	×	
事任八幡宮	第十三代成務天皇	奈良以前	掛川市	※川端。坂上田村麻呂再興。	◎	
日牟禮八幡宮	第十三代成務天皇元年	奈良以前	近江八幡市	※川端。由緒では、成務天皇の世の創建で、西暦131年となっているが、成務天皇は3世紀後半～4世紀の人物。	◎	
五所八幡宮	神功皇后	奈良以前	古賀市	※川端。	◎	
宇美八幡宮	神功皇后	奈良以前	糸島市	※川端。	◎	
鎮懐石八幡宮	神功皇后	奈良以前	糸島市	※もと現在地の北方、深江字津ノ上に鎮座。川端。	◎	
松峽八幡宮	神功皇后	奈良以前	朝倉郡筑前町	※川端。池畔	◎	
埴生八幡宮	神功皇后	奈良以前	中間市	※川端。	◎	
海神神社(上津八幡宮)	神功皇后	奈良以前	対馬市峰町	※川端。	◎	
到津八幡神社	神功皇后	奈良以前	北九州市小倉北区	※川端。	◎	
仲宿八幡宮	神功皇后	奈良以前	北九州市八幡東区	※古代洞海湾沿い。	◎	
小竹八幡神社	神功皇后	奈良以前	御坊市菌新町	※日本書紀の小竹宮。もとは紀小竹に鎮座。いずれにしても川端。	◎	
魚吹八幡神社	神功皇后	奈良以前	姫路市網干区宮内	※川端。	◎	
東明八幡神社	応神、仁徳	奈良以前	神戸市東灘区御影塚町	※川端。	◎	
桜山八幡宮	第十六代仁徳天皇	奈良以前	高山市	※川端。	◎	
箱崎八幡神社	第二十三代額宗天皇	奈良以前	志岐市芦辺町箱崎釘の尾触	※川端ではない。もとは男岳山に鎮座。筑前筥崎宮を勧請したので八幡神社と呼ばれるようになった。遷座が多く、地勢との関連が不明。統計に入れない。	△	

久津八幡宮	377年	奈良以前	仁徳天皇65年／ 下呂市萩原町	※川端。	◎		
下原八幡神社	377年	奈良以前	仁徳天皇65年／ 下呂市金山町	※川端。	◎		
平塚八幡宮	380年	奈良以前	平塚市浅間町	※相模川旧流路沿い。	×		
城原八幡神社	391年	奈良以前	竹田市	※川端。	◎		
金富神社(矢幡 八幡宮)	3世紀or724年	奈良以前	築上郡築上町	※川端ではない。	×		
菱形八幡宮	509～571年	奈良以前	熊本市北区	※川端。	◎		
夏山八幡宮	531年	奈良以前	岡崎市夏山町	※川端。	◎		
誉田八幡宮	539年～571年	奈良以前	羽曳野市誉田	※川端。	◎		
百舌鳥八幡宮	539年～571年	奈良以前	堺市百舌鳥赤畑 町	※川端。通説の「百舌=万代(も ず)」ではなく「百舌=モテユ= 小さな峰=古墳」ではないか。	◎		
広八幡神社	539年～571年	奈良以前	有田郡広川町上 中野	※川端。	◎		
根岸八幡神社	543年	奈良以前	横浜市磯子区西 町	※川端。	◎		
八幡古表神社	545年	奈良以前	築上郡吉富町	※川端。	◎		
野上八幡宮	552年	奈良以前	海草郡紀美野町 小畑	※川端ではない。	×		
宇美八幡宮	570年	奈良以前	糟屋郡宇美町	※川端。	◎		
篠崎八幡神社	583年	奈良以前	北九州市小倉北 区	※川端。	◎		
雄郡神社(正八 幡神社)	586年	奈良以前	松山市	※川端。	◎		
日招八幡大神社	589年	奈良以前	松山市	※石手川旧流路南岸。川端。	◎		
草津八幡宮	593年～628年	奈良以前	広島市西区田方	※川端。	◎		
豊山八幡神社	593年～628年	奈良以前	北九州市八幡東 区	※もと西隣の西本町に鎮座。いず れにしても古代洞海湾沿い。	◎		
駿府八幡宮	597年	奈良以前	静岡市	※川端。安倍川はかつて薬科川と 合流せず、平行して駿河湾に注い でいた。まさに川端。地名も「八 幡山=川端の山」。	◎		
川之江八幡神社	598年	奈良以前	四国中央市	※当初川之江市金生町山田井霧山 に鎮座。霧山がどこか不明。統計 に入れない。	△		
三宅八幡宮	600年前後	奈良以前	京都市左京区	※不明。「メムヤケ/ベツチャム =泉の岸のところ/川端」と解釈 できるので、古い地勢は池畔だっ たのではないか。不分明なので統 計に入れない。	△		
浪打八幡宮	604年	奈良以前	三豊市	※古代は三野津湾の出口。川端。	◎		
移田八幡宮	650年～654年	奈良以前	高岡市中田	※川端。	◎		
井上八幡神社	650年～654年以前?	奈良以前	徳島市川内町	※川端。	◎		
飯香岡八幡宮	653年	奈良以前	市原市	※川端。	◎		
亀山八幡宮	653年	奈良以前	佐世保市	※川端。	◎		
高宮八幡宮	655年～661年	奈良以前	福岡市南区	※もと背後の高台に鎮座。※川端 ではない。	×		
恵蘇八幡宮	661年	奈良以前	朝倉市	※朝倉町長安寺で創祀。池畔。	×		
東大野八幡神社	666年	奈良以前	北九州市小倉南 区	※郷原に創建。1055年に山本村 に遷座。1536年西大野八幡神社 に遷座か。いずれも川沿い。 1667年現在地に遷座。	◎		
西大野八幡神社	666年	奈良以前	北九州市小倉南 区	※郷原に創建。1055年に山本村 に遷座。1536年現在地に遷座 か。いずれも川沿い。	◎		
尾張八幡神社	668年～672年	奈良以前	知多市八幡	※川端。	◎		
大富神社(宗像 八幡社)	671年	奈良以前	#VALUE!	※川端。	◎		
足助八幡宮	673年	奈良以前	豊田市	※川端。	◎		

野田八幡宮	676年	奈良以前	刈谷市	※川端ではない。	×		
鞭崎八幡宮	676年	奈良以前	草津市	※川端。由緒では「頼朝が鞭で神社を指した」ことが命名由来となっているが、琵琶湖畔なので「鞭先=ムンテュムサケ=草原の浜のところ」ではないか。	◎		
厳原八幡宮神社	677年	奈良以前	対馬市厳原町	※川端。	◎		
朝日八幡神社	686年～697年	奈良以前	松山市	※川端。	◎		
牟呂八幡社	697年	奈良以前	豊橋市牟呂町	※1000年前は牟呂地区が海岸線で、豊川と柳生川に挟まれた半島状の地勢だった。川端。	◎		
羽田八幡宮	698年	奈良以前	豊橋市花田町	※1000年前は、目の前まで豊川の河口。川端。「羽田=バナチャ=川下の岸」=「八幡=川端」。1289年に現在地（花田町斎藤54）に移転。その前は名称を考慮すると南に隣接する羽田地区か。	◎		
山中八幡宮	699年	奈良以前	岡崎市舞木町	※川端。	◎		
二日市八幡宮	6世紀	奈良以前	筑紫野市	※川端。	◎		
箭幹八幡宮	7世紀前半以前	奈良以前	町田市	※川端ではない。	×		
中村八幡宮	7世紀後半	奈良以前	真岡市中	※鬼怒川の河岸段丘上。川端。	◎		
大宝八幡宮	701年	奈良以前	下妻市大宝	※創祀場所が不明。統計に入れない。	△		
若宮八幡社	701年	奈良以前	名古屋市中区	※もとは名古屋城三の丸に立地。堀川沿い。堀川は名古屋城築造の資材運搬用に築かれた河川だが、自然河川を掘削したとの説あり。	◎		
鴻八幡宮	701年	奈良以前	倉敷市児島下の町	※川端。かつては湾岸の河口。	◎		
新庄八幡宮	701年	奈良以前	倉敷市児島阿津	※川端。	◎		
脇子八幡宮	702年	奈良以前	下新川郡朝日町	※川端ではない。	×		
坂本神社八幡宮	702年	奈良以前	中津川市	※川端。	◎		
杉森八幡社	702年	奈良以前	豊川市赤坂町	※川端。	◎		
亀山神社(亀山八幡宮)	703年	奈良以前	呉市清水	※もと入船山記念公園に鎮座。いづれにしても川端。	◎		
琴弾八幡宮	703年	奈良以前	観音寺市	※川端。	◎		
野依八幡社	704年	奈良以前	豊橋市野依町	※川端ではない。	×		
大原八幡宮	704年	奈良以前	日田市	※日田市天瀬町馬原金場に創建。川端。852年に現在地に遷座。	◎		
遠石八幡宮	708年	奈良以前	周南市遠石	※川端。	◎		
大宮八幡神社	708年	奈良以前	名東郡佐那河内村	※川端。	◎		
伊吹八幡神社	708年	奈良以前	宇和島市	※川端。	◎		
鹿児島神宮(大隅正八幡宮)	708年	奈良以前	霧島市	※川端。神武天皇の時代の創建とも言われるが、神武天皇は実在しない。神武天皇(=崇神天皇)の曾祖父のヒコホホデミの宮を神社としたともあるが、ヒコホホデミはニニギの子で、ニニギは伊都国を継いでいるので、必然的にヒコホホデミも伊都国系の人物となる。	◎		
白川八幡神社	708年～715年	奈良以前	大野郡白川村	※川端。	◎		
小幡八幡宮	708年～715年以前	奈良以前	熊本市中央区	※川端。	◎		
荒田八幡宮	708年or1197年	奈良以前	鹿児島市	※川端。「アルチャ/ベッチャム=一方の岸/川端」。	◎		
御田八幡神社	709年	奈良以前	港区	※牟佐志国枚岡(港区三田一丁目)で創建。日比谷入江沿い。	◎		

山崎八幡宮	709年	奈良以前	周南市	※もと周南市河内町に鎮座。川端。	◎		
花岡八幡宮	709年	奈良以前	下松市	※川端。	◎		
古宮八幡宮	709年	奈良以前	田川郡香春町	※香春三ノ岳麓の阿曾隈で創祀。川端。	◎		
別宮八幡社	712年～724年or858年	奈良以前	豊後高田市	※川端。	◎		
岩隈八幡宮	714年	奈良以前	岩国市	※もと周東町祖生の岩隈八幡宮に鎮座。川端。1692年に現在地に遷座。	◎		
八幡神社	717年	奈良以前	八幡浜市	※川端。	◎		
鶴峯八幡神社	717年～724年	奈良以前	富津市	※川端。	◎		
埴生護国八幡宮	717年～724年	奈良以前	小矢部市	※川端ではない。	×		
府中八幡宮	720年	奈良以前	上越市	※川端。	◎		
薦神社(大貞八幡宮)	720年	奈良以前	中津市	※川端ではないが、池畔。	×		
生立八幡神社	723年	奈良以前	京都郡	※川端。由緒には「生立」が応神天皇と関係がある旨書かれているが、縄文語では「オウンテューテュク=川尻(川の合流点)にある岬」。1067年に現在地に遷座。応神天皇の霊石が小高い峰が連なる西方の大村地区にあるとのことなので、まさに縄文語解釈どおりの地勢となります。	◎		
千栗八幡宮	724年	奈良以前	三養基郡みやき町	※川端。	◎		
大町八幡神社	724年	奈良以前	杵島郡大町町	※川端。池畔。	◎		
綱分八幡宮	724年～729年	奈良以前	飯塚市	※川端。「綱分=テュンナイワケ=谷川の岸のところ」。由緒には「綱を分けた場所」とあります。	◎		
武威国府八幡宮	724年～749年	奈良以前	府中市	※川端。江戸期?以前多摩川は府中競馬場の際(府中用水)を流れていた。町名も「八幡町」。	◎		
宇佐神宮	725年	奈良以前	宇佐市	※川端。	◎		
新田神社(新田八幡宮)	725年	奈良以前	薩摩川内市	※由緒には、新田は「新しい田んぼ」の意だとありますが、違います。「新田=ヌタブ=川の湾曲内の土地 or ニタツ=湿地」の意です。地勢と完全一致します。川端。	◎		
大分八幡宮	726年	奈良以前	飯塚市	※後方の丘陵上に創建。池畔。	×		
奈多宮(八幡奈多宮)	729年	奈良以前	杵築市	※川端ではない。海沿い。	□		
府八幡宮	729年～748年	奈良以前	磐田市	※川端。	◎		
六椹八幡宮	729年～749年	奈良以前	山形市	※川端ではない。	×		
間々田八幡宮	729年～749年	奈良以前	小山市間々田	※川端。	◎		
八尾八幡社	729年～749年	奈良以前	富山市	※川端。	◎		
三条八幡神社	738年以降	奈良以前	芦屋市三条町	※隣接の法恩寺(行基創建)の守護神として勧請された。統計に入れない。	△		
放生津八幡宮	746年	奈良以前	射水市	※川端。	◎		
手向山八幡宮	749年	奈良以前	奈良市雑司町	※川端。東大寺の守護として勧請。統計に入れない。	△		
郡山八幡神社	749年	奈良以前	大和郡山市柳	※川端。統計に入れない。	△		
高山八幡宮	749年	奈良以前	生駒市高山町	※川端。統計に入れない。	△		
国分八幡宮	749年～757年	奈良以前	高松市	※川端。	◎		
大江八幡宮	749年～757年	奈良以前	中津市	※川端。	◎		
今山八幡宮	750年	奈良以前	延岡市	※川端。	◎		
日尾八幡神社	752年	奈良以前	松山市	※川端ではない。	×		
松原八幡神社	763年	奈良以前	姫路市白浜町	※川端。	◎		

牛久保八幡社	765年	奈良以前	豊川市牛久保	※豊川の河岸段丘上に立地。1000年前は目の前の河岸段丘まで入江が入り込んでいた。川端。	◎		
八幡宮来宮神社	769年	奈良以前	伊東市	※川端ではない。地名は「八幡野」だが、エリアが広すぎる。統計に入れない。	△		
御調八幡宮	769年	奈良以前	三原市八幡町宮内	※川端。	◎		
岡崎八幡宮	770年	奈良以前	宇部市大字船木	※川端。「船木=ベナケ=上流」	◎		
平岡八幡宮	774年～835年	奈良以前	京都市右京区	※川端。統計に入れない。	△		
田光八幡社	782年	奈良以前	名古屋市瑞穂区	※旧精進川支流沿い。	◎		
八幡神社	782年～806年	奈良以前	一関市	※川端ではない。	×		
屯岡八幡宮	782年～806年	奈良以前	栗原市栗駒八幡	※川まで距離があるが、周辺の地名が栗駒八幡。八幡町は川端。	◎	◎ (川端) の数	100
土橋八幡宮	782年～806年	奈良以前	八女市	※川端ではない。	×	△ (地勢不明) の数	13
赤羽八幡神社	784年	奈良以前	北区	※川端。	◎	× (川端ではない) の数	17
武蔵野八幡宮	789年	奈良以前	武蔵野市	※井の頭池 (川) と善福寺池 (川) の間。	◎	「奈良時代以前」の「八幡神社」が「川端」の確率	85%
天祖若宮八幡宮	奈良時代	奈良以前	練馬区	※川端。	◎		
八幡神社	奈良	奈良以前	奈良市西大寺芝町	※川端。池畔。西大寺の守護として創建。統計に入れない。	△		
薬園八幡神社	奈良	奈良以前	大和郡山市材木町	※川端。統計に入れない。	△		
筑摩神社	794年	平安/鎌倉	松本市	※川端。	◎		
宮原八幡宮	795年	平安/鎌倉	那須烏山市宮原	※もと烏山町城山と毘沙門天山の中間に鎮座。川端。	◎		
長沼八幡宮	795年	平安/鎌倉	真岡市長沼	※川端。	◎		
野原八幡宮	796年	平安/鎌倉	荒尾市	※川端。	◎		
鎮守府八幡宮	801年	平安/鎌倉	奥州市水沢区	※川端。	◎		
北鬼江八幡宮	806年	平安/鎌倉	魚津市	※川端。	◎		
鶴尾八幡宮	806年～809年	平安/鎌倉	高松市	※川端。池畔。「鶴尾=チルオ=水のしたたりの外れ」	◎		
塩原八幡宮	807年	平安/鎌倉	那須塩原市中塩原	※川端。	◎		
海上八幡宮	807年	平安/鎌倉	銚子市	※川端。	◎		
元石清水八幡宮	807年	平安/鎌倉	奈良市東九条町	※池畔。後世の開発で不明だが、小河川があるので可能性は高い。大安寺の鎮守として創建。統計に入れない。	△		
筑土八幡神社	809年～823年	平安/鎌倉	新宿区	※神田川 (平川) 沿い。	◎		
正八幡宮	814年	平安/鎌倉	山口市	※もとは山口市秋穂二島の古宮に鎮座。1501年に現在地に遷座。いずれも川端。	◎		
葛原八幡神社	817年	平安/鎌倉	北九州市小倉南区	※湯川安部山に創建。川端。背後の山は足立山で、神社由緒には「足が立ったので足立山」とある。「足立山=アッチャチャヤマ=一方のじじい (崇拜している古い) 山」。	◎		
風治八幡宮	817年	平安/鎌倉	田川市	※川端。由緒には「靈験あらたかな奇瑞 (きすい) を後世に伝えるため、風の一字を加えて風宮」とするとありますが、縄文語では「ブッチャ=川口の岸=川の合流点の岸」になります。	◎		
武田八幡宮	822年	平安/鎌倉	韭崎市	※川端ではない。	×		
御器所八幡宮	833年～850年	平安/鎌倉	名古屋市昭和区	※旧精進川沿い。	◎		
白岡八幡宮	849年	平安/鎌倉	白岡市白岡	※川端。	◎		
踞尾八幡神社	850年	平安/鎌倉	堺市津久野町	※川端。	◎		
山口八幡神社	851年	平安/鎌倉	日高郡印南町	※川端。	◎		
嘯吹八幡神社	852年	平安/鎌倉	豊前市	※川端。	◎		

若宮八幡神社	852年	平安／鎌倉	豊後高田市	※川端。	◎		
大塚八幡神社	854年～857年	平安／鎌倉	宮崎市	※川端。	◎		
長谷八幡宮	857年	平安／鎌倉	京都市左京区	※川端。統計に入れない。	△		
稲橋八幡神社	858年～876年	平安／鎌倉	豊田市	※川端。	◎		
伊佐爾波神社 (湯月八幡神社) (858年～876年 ／松山市)	858年～876年	平安／鎌倉	松山市	※もと道後公園(湯築城内)山麓に鎮座。湯築城築城の際に現在地に遷座。かつては石手川が道後公園の際を流れていた。川端。	◎		
八旗八幡宮	859～877年	平安／鎌倉	北九州市小倉南区	※川端。	◎		
大井俣窪八幡神社	859年	平安／鎌倉	山梨市	※川端。	◎		
離宮八幡宮	859年	平安／鎌倉	乙訓郡大山崎町	※川端。石清水八幡宮の本宮。	×		
隅田八幡神社	859年	平安／鎌倉	橋本市隅田町	※川端。	◎		
窪八幡宮	859年	平安／鎌倉	岡山市東区久保	※川端。	◎		
朝倉八幡宮	859年	平安／鎌倉	山口市	※川端ではない。	×		
琴崎八幡宮	859年	平安／鎌倉	宇部市上宇部大小路	※川端。	◎		
亀山八幡宮	859年	平安／鎌倉	下関市中之町	※壇ノ浦沿い。	◎		
鎮守八幡宮	859年	平安／鎌倉	下関市阿弥陀寺町	※壇ノ浦沿い。	◎		
桑原八幡神社	859年	平安／鎌倉	松山市	※もと桑原村古宮(所在地不明)に鎮座。1088年に現在地に遷座。統計に入れない。	△		
石清水八幡神社 ⇒google map (859年／今治市)	859年	平安／鎌倉	今治市	※もと勝岡(現在地の南約500m)に鎮座。川端。	◎		
正ノ宮正八幡神社	859年	平安／鎌倉	行橋市行事	※川端。	◎		
御崎八幡神社	859年～876年	平安／鎌倉	神戸市兵庫区御崎本町	※川端。	◎		
宇佐八幡神社	859年～877年	平安／鎌倉	市原市	※川端。	◎		
亀岡八幡宮	859年～877年	平安／鎌倉	南あわじ市阿万上町	※川端。	◎		
還熊八幡神社	859年～877年	平安／鎌倉	松山市	※もと北の山上篠原に鎮座というのが場所が不明。統計に入れない。	△		
鳩森八幡神社	860年	平安／鎌倉	渋谷区	※旧渋谷川沿い。	◎		
千束八幡神社	860年	平安／鎌倉	大田区	※洗足池池畔。足を洗ったから洗足ではなく、「シャンチュウケ=大きな水脈のところ」だと思います。	◎		
石清水八幡宮	860年	平安／鎌倉	京都府八幡市	※川端。	◎		
正八幡宮	860年	平安／鎌倉	山口市	※川端。	◎		
甲宗八幡神社	860年	平安／鎌倉	北九州市門司区	※壇ノ浦沿い。	◎		
正八幡神社	860年	平安／鎌倉	行橋市神田町	※川端。	◎		
片山八幡社	871年	平安／鎌倉	小牧市村中	※川端。	◎		
薬師寺八幡宮	875年	平安／鎌倉	下野市薬師寺	※川端。「薬師=ヤケシ=陸岸の末端」	◎		
忠海八幡神社	876年	平安／鎌倉	竹原市	※川端。	◎		
西脇八幡神社	877年	平安／鎌倉	西脇市下戸田	※川端。	◎		
矢俣八幡神社	878年	平安／鎌倉	三養基郡みやき町	※川端。	◎		
伊美別宮社	886年	平安／鎌倉	国東市	※川端。	◎		
廣幡八幡宮	887年～897年	平安／鎌倉	柏市	※川端。	◎		
葛飾八幡宮	889年～898年	平安／鎌倉	市川市八幡	※川まで少々距離があるが、地名が八幡で川端。	◎		
休ヶ岡八幡宮	889年～898年	平安／鎌倉	奈良市西ノ京町	※川端。池畔。薬師寺の守護として勧請。統計に入れない。	△		
大塩八幡宮	891年	平安／鎌倉	越前市	※川端。	◎		
幡枝八幡宮	894年	平安／鎌倉	京都市左京区	※川端。統計に入れない。	△		

中村八幡宮	897年～930年	平安／鎌倉	横浜市南区八幡町	※川端。	◎		
府中八幡神社	902年	平安／鎌倉	和歌山市府中	※古代は目の前が紀ノ川支流。	×		
石清尾八幡宮	918年	平安／鎌倉	高松市	※川端。	◎		
宮崎宮	923年	平安／鎌倉	福岡市東区	※川端。	◎		
八幡八雲神社	924年	平安／鎌倉	八王子市	※川端ではない。	×		
浜松八幡宮	927年	平安／鎌倉	1051年に八幡二柱を勧請して現在地に遷座／浜松市中区	※川端。	◎		
藤崎八幡宮	935年	平安／鎌倉	熊本市中央区	※川端。	◎		
上内八幡宮	937年	平安／鎌倉	大牟田市	※川端。	◎		
川崎／宮八幡神社本宮	947年	平安／鎌倉	岡山県倉敷市酒津	※川端。	◎		
鷲原八幡宮	947年～956年	平安／鎌倉	津和野町鷲原	※もとは矢田福生庄に鎮座。矢田福生庄がどこかは不明。統計に入れない。	△		
八幡神社	954年	平安／鎌倉	成田市芦戸	※川端ではない。	×		
上野國一社八幡宮	957年	平安／鎌倉	高崎市八幡町	※川端。もと八幡荘。	◎		
和田八幡宮	959年	平安／鎌倉	福井市和田	※川端。	◎		
繁根木八幡宮	961年	平安／鎌倉	玉名市	※川端。	◎		
波豆八幡神社	973年	平安／鎌倉	宝塚市	※川端。	◎		
雲八幡宮	973年	平安／鎌倉	中津市	※川端。	◎		
安良川八幡宮	985年	平安／鎌倉	高萩市	※現在の浜宮で創祀。川端ではない。「安楽川（あらかわ）＝アル川＝一方の川」の意なので、安楽川地区とセットで考えれば、花貫川沿いの地勢ということになる。	◎		
若宮八幡社	985年	平安／鎌倉	杵築市	※川端。	◎		
板宿八幡神社	987年	平安／鎌倉	神戸市須磨区板宿町	※川端。	◎		
六條八幡宮	995年	平安／鎌倉	神戸市北区山田町	※川端。	◎		
西乃宮八幡神社	996年	平安／鎌倉	三養基郡みやき町	※川端。	◎		
西久保八幡神社	1004年～1012年	平安／鎌倉	港区	※霞ヶ関または榎坂で創建。日比谷入江沿い。	◎		
海正八幡神社	1024年	平安／鎌倉	阿南市橘町	※もとは内原町鎮ヶ森（東福寺の裏手）に鎮座。川端とは言えない。	×		
別宮八幡神社	1025年	平安／鎌倉	徳島市応神町	※もと川内町下別宮別宮浦に鎮座。川端。文禄年間洪水により現在地に遷座。	◎		
岩川八幡神社	1025年	平安／鎌倉	曾於市	※川端。	◎		
勝利八幡神社	1026年	平安／鎌倉	世田谷区	※旧北沢川沿い。	◎		
川越八幡宮	1030年	平安／鎌倉	川越市	※川端ではない。	×		
旗岡八幡神社	1030年	平安／鎌倉	品川区	※旧立会川沿い。	◎		
八幡神社	1039年	平安／鎌倉	河内長野市	※川端。	◎		
宮崎八幡宮	1050年	平安／鎌倉	宮崎市	※川端。	◎		
八幡神社	1051年	平安／鎌倉	本庄市児玉町児玉	※隣接する地区の女堀川沿いに「八幡山」という地名があるので、少々川まで距離があるが、川端として解釈。	◎		
守山八幡宮	1051年	平安／鎌倉	宇城市	※川端ではない。	×		
若宮八幡宮社	1053年	平安／鎌倉	京都市東山区	※もとは六条醒ヶ井（現在の西本願寺北東周辺）に鎮座。水路沿いであるが、後世の開発で詳細不明。統計に入れない。	△		
八幡神社	1054年	平安／鎌倉	奥州市胆沢区	※川端ではない。	×		
心清水八幡神社	1055年	平安／鎌倉	河沼郡会津坂下町	※川端ではない。	×		
坪沼八幡神社	1056年	平安／鎌倉	仙台市太白区	※川端。	◎		
馬場八幡宮	1056年	平安／鎌倉	常陸太田市	※川端ではない。	×		

下野國一社八幡宮	1056年	平安／鎌倉	足利市八幡町	※川端。	◎		
舞台八幡神社	1057年	平安／鎌倉	仙台市太白区	※川端。	◎		
鶴嶺八幡宮	1058年～1065年	平安／鎌倉	茅ヶ崎市浜之郷	※懐島八幡宮（本社宮）から分祀。いずれも川端。	◎		
鮎貝八幡宮	1059年	平安／鎌倉	西置賜郡白鷹町	※鮎貝字八幡で創建。川端。	◎		
日吉八幡神社	1060年	平安／鎌倉	秋田市	※もと外旭川の笹岡に鎮座。後世の開発で不明。統計に入れない。	△		
盛岡八幡宮	1062年	平安／鎌倉	盛岡市	※もと盛岡城内にあった鳩森八幡宮。1680年に櫛引八幡を勧請、合祀し、現在地に遷座。統計に入れない。	△		
穴八幡宮	1062年	平安／鎌倉	新宿区	※白鳥池周辺か。後世の開発で不明。統計に入れない。「アウナベツチャム＝枝分かれた方の川端」	△		
百草八幡宮	1062年	平安／鎌倉	日野市	※川端ではない。	×		
大宮八幡宮	1063年	平安／鎌倉	杉並区	※川端。	◎		
鶴岡八幡宮	1063年	平安／鎌倉	鎌倉市雪ノ下	※現材木座1丁目で創建。川端。「鶴＝チル＝水のしたたり」	◎		
杉田八幡宮	1063年	平安／鎌倉	横浜市磯子区	※旧河川沿い。	◎		
若宮八幡宮	1063年	平安／鎌倉	白山市	※川端。	◎		
長瀬八幡宮	1063年	平安／鎌倉	岡崎市森越町	※川端。	◎		
青山八幡宮	1063年～1065年	平安／鎌倉	藤枝市	※川端。	◎		
飯野八幡宮	1063年or1186年	平安／鎌倉	いわき市	※赤目崎見物岡（磐城平城の地）で創祀。湊端だが、当初から存在したかどうか不明。統計に入れない。	△		
亀岡八幡宮	1064年	平安／鎌倉	芳賀郡益子町小宅	※芦沼で創祀。川端。	◎		
鷺宮八幡神社	1064年	平安／鎌倉	中野区	※川端。	◎		
伊米神社八幡宮	1064年	平安／鎌倉	新潟県小千谷市桜町	※川端。	◎		
壺井八幡宮	1064年	平安／鎌倉	羽曳野市壺井	※川端。	◎		
吉川八幡神社	1065年～1069年	平安／鎌倉	豊能町吉川	※川端ではない。	×		
長浜八幡宮	1069年	平安／鎌倉	長浜市	※川端。	◎		
篠村八幡宮	1071年	平安／鎌倉	京都府亀岡市	※川端ではない。	×		
冨塚八幡宮	1072年	平安／鎌倉	横浜市戸塚区戸塚町	※川端ではない。	×		
福山八幡宮	1074年	平安／鎌倉	福山市北吉津町	※川端。「穴の海」と呼ばれていた内海の「福山」の地に鎮座。「穴（海）＝アウナ＝枝分かれた方の（海）」「福山＝ブツケヤマ＝川口のところの山」。いずれも縄文語解釈どおりの地勢。	◎		
川中島古戦場八幡社	1087年～1094年	平安／鎌倉	長野市	※川端。	◎		
谷地八幡宮	1091年	平安／鎌倉	西村山郡河北町	※もとは村山市白鳥に立地。川沿いかどうかは不明。統計に入れない。	△		
世田谷八幡宮	1091年	平安／鎌倉	世田谷区	※旧鳥山川沿い。	◎		
金王八幡宮	1092年	平安／鎌倉	渋谷区	※旧渋谷川沿い。	◎		
金澤八幡宮	1093年	平安／鎌倉	横手市	※金沢柵跡に勧請。統計に入れない。	△		
烏帽子山八幡宮	1093年	平安／鎌倉	南陽市	※北町八幡沢で創祀。川端。	◎		
巨田神社(巨田八幡宮)	1093年	平安／鎌倉	宮崎市	※川端ではない。巨田の大池があるので池畔の意か。「巨田＝コツチャ＝窪地の岸」。	×		
小田八幡宮	11世紀中半	平安／鎌倉	八戸市小田	※川端ではない。	×		
益山八幡神社	1100年	平安／鎌倉	南さつま市	※川端。	◎		
蒲生八幡神社	1123年	平安／鎌倉	始良市	※川端。	◎		
内田八幡宮	1128年	平安／鎌倉	山鹿市	※川端。	◎		
下庄八幡神社	1131年	平安／鎌倉	みやま市	※川端。	◎		



八幡鶴市神社	1135年	平安／鎌倉	中津市	※川端。	◎		
闇之森八幡社	1139年～1170年	平安／鎌倉	名古屋市中区	※堀川沿い。鎮西八郎源為朝創建という。	◎		
鶴岡八幡神社	1153年	平安／鎌倉	田川郡香春町	※川端ではない。	×		
若宮八幡神社	1153年	平安／鎌倉	うきは市	※川端。	◎		
下中八幡宮	1156年	平安／鎌倉	名古屋市中村区	※もと庄内川支流沿い。	◎		
富田八幡宮	1156年～1159年	平安／鎌倉	安来市	※もとは勝日神社で対岸の月山山頂に鎮座。1156年～1159年に現在地に遷座して名称が変わった。いずれも川端。	◎		
彦島八幡宮	1159年	平安／鎌倉	下関市	※関門海峡沿い。	◎		
多井畑厄除八幡宮	1175年	平安／鎌倉	神戸市須磨区多井畑	※川端。	◎		
山名八幡宮	1175年～1177年	平安／鎌倉	高崎市	※川端。	◎		
綾部八幡宮	1177年～1181年	平安／鎌倉	京都府綾部市	※川端ではない。	×		
旗拳八幡宮	1180年	平安／鎌倉	木曾町	※川端。	◎		
二ノ宮八幡神社	1180年	平安／鎌倉	名西郡神山町	※川端。	◎		
鴨居八幡神社	1181年	平安／鎌倉	横須賀市鴨居	※旧和田川沿い。	◎		
西叶神社	1181年	平安／鎌倉	横須賀市西浦賀	※浦賀港沿い。	□		
日置八幡宮	1181年	平安／鎌倉	愛西市	※川端。木曾川の氾濫原。	◎		
高木八幡宮	1181年	平安／鎌倉	佐賀市	※川端。	◎		
伏拝八幡神社	1185年	平安／鎌倉	徳島市一宮町	※川端。	◎		
若宮八幡宮	1185年	平安／鎌倉	高知市	※川端ではない。海沿い。	□		
若宮八幡宮	1187年	平安／鎌倉	久留米市	※川端。	◎		
龍造寺八幡宮 (佐賀八幡神社)	1187年	平安／鎌倉	佐賀市	※もと村中城（のちの佐賀城）本丸に鎮座。川端。	◎		
亀岡八幡宮	1189年	平安／鎌倉	仙台市青葉区	※もと伊達郡高子村に鎮座。川端。	◎		
生出森八幡神社	1189年	平安／鎌倉	仙台市太白区	※創建の地が不明。統計に入れない。	△		
梁川八幡宮	1189年	平安／鎌倉	伊達市	※川端。	◎		
鶴峯八幡神社	1189年	平安／鎌倉	古河市中田	※川端。	◎		
寺津八幡社	1190年～1199年	平安／鎌倉	西尾市	※川端。	◎		
飛幡八幡宮	1190年～1199年	平安／鎌倉	北九州市戸畑区	※もと枝光村宮田山に鎮座。いずれにしても古洞海湾沿い。	◎		
枝光八幡宮	1190年～1199年	平安／鎌倉	北九州市八幡東区	※飛幡八幡宮と同源。古代洞海湾沿い。重複のため統計に入れない。	△		
櫛引八幡宮	1191年	平安／鎌倉	八戸市大字八幡字八幡丁	※川端ではない。	×		
梶原八幡神社	1191年	平安／鎌倉	八王子市	※川端ではない。	×		
富岡八幡宮	1191年	平安／鎌倉	横浜市金沢区富岡東	※川端。	◎		
鳥飼八幡宮	古代	奈良以前	福岡市中央区	※川端。	◎		
若宮八幡宮	1193年	平安／鎌倉	横浜市南区大岡	※川端ではない。	×		
若宮八幡宮	1193年	平安／鎌倉	多久市	※川端ではない。	×		
郡山八幡神社	1194年	平安／鎌倉	伊佐市	※川端。	◎		
玉村八幡宮	1195年	平安／鎌倉	佐波郡玉村町	※もともと角淵村にあった角淵八幡宮。角淵村は川端。	◎		
八幡朝見神社	1196年	平安／鎌倉	別府市	※川端。	◎		
若宮八幡社	1196年	平安／鎌倉	大分市上野町	※岩田町周辺に創建。川端。1201年現在地に遷座。	◎		
河尻神宮	1197年	平安／鎌倉	熊本市南区	※川端。	◎		
獅子山八幡宮	1199年	平安／鎌倉	新見市哲西町	※川端ではない。池畔。	×		
榊崎八幡宮	1199年～1255年	平安／鎌倉	足利市榊崎町	※川端。榊崎寺境内社。統計に入れない。	△		
若宮八幡神社	1202年	平安／鎌倉	佐久市	※川端ではない。	×		
綾部八幡神社	1205年	平安／鎌倉	三養基郡みやき町	※川端。	◎		
代々木八幡宮	1212年	平安／鎌倉	渋谷区	※渋谷川支流、旧宇田川、河骨川沿い。	◎		
牧口八幡社	1216年	平安／鎌倉	九重町	※現在地の玫瑰川下方に創建。いずれにしても川端。	◎		

宇佐八幡神社	1220年	平安／鎌倉	名西郡神山町	※川端。	◎	
若宮八幡社	1222年	平安／鎌倉	大分市南	※丸亀字亀甲に創建。川端。	◎	
椿八幡宮	1243年	平安／鎌倉	萩市椿	※もと川上村立野に鎮座。川端。	◎	
井口八幡宮	1247年	平安／鎌倉	人吉市	※川端。	◎	
渋川八幡宮	1249年～1256年	平安／鎌倉	渋川市	※川端ではない。	×	
白崎八幡宮	1250年	平安／鎌倉	岩国市今津町	※川端。	◎	
子安八幡神社	1256年	平安／鎌倉	大田区仲池上	※池上本門寺の場所で創建。川端。	◎	
落地八幡神社	1279年	平安／鎌倉	赤穂郡上郡町落地	※川端。	◎	
箱崎神社	1281年	平安／鎌倉	伊佐市	※川端。	◎	
八幡神社(鍋倉八幡神社)	1282年	平安／鎌倉	始良市	※泉が湧き出る船津の折橋山山上で創祀。泉端。	×	
下田八幡神社	1288年から1293年	平安／鎌倉	静岡県下田市	※川端。	◎	
八幡社	1288年前後	平安／鎌倉	世田谷区	※川端。京王線「八幡山」駅は、烏山川沿いの丘陵の意。	◎	
二川八幡神社	1295年	平安／鎌倉	豊橋市二川町	※川端。	◎	
長柄八幡宮	1296年	平安／鎌倉	大阪市北区長柄中	※川端。	◎	
舞岡八幡宮	1302年	平安／鎌倉	横浜市戸塚区舞岡町	※川端。	◎	
加賀野八幡神社	1317年?	平安／鎌倉	大垣市	※加賀野城内なので統計に入れない。	△	
瀬戸ヶ谷八幡社	1318年	平安／鎌倉	横浜市保土ヶ谷区	※川端。	◎	
妻木八幡神社	1319年	平安／鎌倉	土岐市	※川端。	◎	
春日部八幡神社	1330年前後	平安／鎌倉	春日部市	※春日部氏館。統計に入れない。	△	
亀ヶ池八幡宮	1331年	平安／鎌倉	相模原市中央区上溝	※川端。	◎	
美女木八幡神社	鎌倉時代	平安／鎌倉	戸田市	※川端。「美女木=ベツチャケ=川岸のところ」	◎	
碑文谷八幡宮	鎌倉時代	平安／鎌倉	目黒区	※旧立会川沿い。上流から碑文谷八幡、三谷八幡、小山八幡、旗岡八幡、鮫洲八幡。	◎	
粕谷八幡神社	鎌倉時代	平安／鎌倉	世田谷区	※旧烏山川沿い。	◎	
八剣八幡神社	鎌倉初期	平安／鎌倉	木更津市	※川端。「八剣=ヤウテュルケ=岸の間のところ」=川に挟まれたところ。	◎	
若宮八幡宮	鎌倉初期	平安／鎌倉	川崎市川崎区大師駅前	※川端。	◎	
河津八幡神社	鎌倉初期	平安／鎌倉	河津町	※川端。	◎	
田名八幡宮	鎌倉初期or江戸中期	平安／鎌倉	相模原市中央区水郷田名	※川端。	◎	
土支田八幡宮	鎌倉末期	平安／鎌倉	練馬区	※川端。	◎	
亀岡八幡神社	中世	平安／鎌倉	中津市	※川端。	◎	
野々上八幡神社	奈良時代	平安／鎌倉	羽曳野市野々上	※川端ではない。池畔。	×	
土呂八幡宮	奈良末、平安初期	平安／鎌倉	岡崎市福岡町	※川端ではない。	×	
小八幡八幡神社	平安	平安／鎌倉	小田原市小八幡	※川端。	◎	
鞆洲八幡神社	平安	平安／鎌倉	紀の川市中鞆洲	※川端。	◎	
楯原八幡宮	平安	平安／鎌倉	尾道市原田町	※川端ではない。	×	
六甲八幡神社	平安～鎌倉	平安／鎌倉	神戸市灘区八幡町	※川端ではない。	×	
太子堂八幡神社	平安後期	平安／鎌倉	世田谷区太子堂	※旧烏山川沿い。	◎	
八幡神社	平安後期	平安／鎌倉	横浜市青葉区荏子田	※川端ではない。	×	
神宮寺八幡神社	平安初期	平安／鎌倉	大仙市	※もと隠里に鎮座。隠里がどこか不明。統計に入れない	△	

鶴谷八幡宮	平安初期	平安／鎌倉	千葉県館山市八幡	※南房総市府中で安房国総社として創祀。鎌倉時代に現地に遷座して八幡宮となる。川端。地名も八幡。「鶴谷＝チルヤ＝水流の岸」。	◎		
道野辺八幡宮	平安中期	平安／鎌倉	鎌ヶ谷市	※川端ではない。	×		
板列八幡神社	平安中期	平安／鎌倉	京都府与謝野町	※川端。	◎		
上山八幡宮	平安末期	平安／鎌倉	本吉郡南三陸町	※もと旭館跡の南の沢に鎮座。川端。	◎		
行田八幡神社	平安末期	平安／鎌倉	行田市	※川端。	◎		
福井八幡神社	平安末期	平安／鎌倉	福井市古市	※川端。	◎	◎（川端）の数	165
八幡神社	平安末期	平安／鎌倉	美濃市	※川端。	◎	△（地勢不明）の数	21
愛媛県新居浜市八幡	平安末期	平安／鎌倉	四国中央市	※川端かどうかは後世の開発で不明。瀬戸内海沿い。	△	×（川端ではない）の数	34
山田八幡宮	平安末期、鎌倉初期	平安／鎌倉	山田町	※川端ではないが、地名が八幡で川端。	◎	「平安／鎌倉時代」の「八幡神社」が「川端」の確率	83%
涼ヶ岡八幡神社	1334～1338年	南北朝／室町／戦国	相馬市	※川端ではない。	×		
大垣八幡神社	1334年	南北朝／室町／戦国	大垣市	※もとは大垣市藤江町にあった。いずれにしても川端。	◎		
上野八幡神社	1337年	南北朝／室町／戦国	美濃市	※川端。	◎		
荒田八幡神社	1338年	南北朝／室町／戦国	真庭市荒田	※川端。「荒田＝アルチャ＝枝分かれた岸＝支流の岸」。縄文語解釈どおりの地勢。	◎		
箱崎八幡神社	1345～49年	南北朝／室町／戦国	出水市	※川端。	◎		
男山八幡宮	1345年	南北朝／室町／戦国	姫路市山野井町	※船場川沿い。古代から中世、船場川が市川の本流だった。	◎		
坂出八幡神社	1346年～1369年	南北朝／室町／戦国	高松市	※もと後背の山の麓に鎮座。川端ではない。	×		
日和佐八幡神社	1351年	南北朝／室町／戦国	海部郡美波町	※川端。	◎		
八幡神社	1352年～1356年	南北朝／室町／戦国	あきる野市	※川端。	◎		
若宮神社	1356年	南北朝／室町／戦国	鹿児島市	※川端。	◎		
久礼八幡宮	1392年	南北朝／室町／戦国	中土佐町	※川端。海沿い。	◎		
子安八幡神社	1394年～1428年	南北朝／室町／戦国	大田区北糞谷	※川端。	◎		
若宮八幡宮	1400年	南北朝／室町／戦国	常陸太田市	※太田城（舞鶴城）の折願所。河岸段丘上。川端。	◎		
勝岡八幡神社	1429年～1441年	南北朝／室町／戦国	松山市	※川端。	◎		
早長八幡宮	1444年	南北朝／室町／戦国	光市	※もと宮ノ脇御旅所に鎮座。川端。	◎		
鳴尾八幡神社	1444年～1449年	南北朝／室町／戦国	西宮市	※武庫川旧流路沿い。	◎		
長安八幡宮	1452年	南北朝／室町／戦国	浜田市弥栄	※川端。	◎		
諏訪八幡神社	1455年	南北朝／室町／戦国	古河市本町	※もと古河城諏訪曲輪に鎮座。統計に入れない。	△		
北澤八幡神社	1469年～1484年	南北朝／室町／戦国	世田谷区	※旧北沢川沿い。	◎		
有磯正八幡宮 （横田正八幡宮）	1469年～1487年	南北朝／室町／戦国	高岡市	※もと千保川東岸の川原町に鎮座。川端。	◎		
馬木八幡神社	1469年～1487年	南北朝／室町／戦国	広島市東区馬木	※川端。	◎		
不破八幡宮	1469年～1487年	南北朝／室町／戦国	四万十市	※川端。「不破＝ブツバ＝川口の岬」	×		
伊賀八幡宮	1470年	南北朝／室町／戦国	岡崎市伊賀町	※川端。	◎		
市谷亀岡八幡宮	1479年	南北朝／室町／戦国	杉並区	※もと市谷御門の中に鎮座。平川支流と千鳥ヶ淵の間。川端。	◎		

紅葉八幡宮	1482年	南北朝／室町 ／戦国	福岡市早良区	※もと西区橋本に鎮座。川端。 1666年に、現在地に遷座。	◎		
橋本八幡宮	1482年	南北朝／室町 ／戦国	福岡市西区	※川端。紅葉八幡宮の前身。	◎		
八幡神社	14世紀中頃	南北朝／室町 ／戦国	阿波市市場町香 美	※川端。	◎		
津田八幡神社	1500年前後	南北朝／室町 ／戦国	徳島市津田西町	※もと後背の津田山山頂に鎮座。 いずれにしても川端。	◎		
大原八幡神社	1501年	南北朝／室町 ／戦国	いすみ市大原	※川端ではない。	×		
諏訪八幡神社	1516年	南北朝／室町 ／戦国	飯能市	※川端。	◎		
府中八幡宮	1519年	南北朝／室町 ／戦国	甲府市	※川端。石和八幡（成務天皇5年 創建、1192年鶴岡八幡宮を勧 請）から1519年に遷座。いづれ も川端。	◎		
八幡神社	1521年	南北朝／室町 ／戦国	古河市八幡町	※もと古河城内に鎮座。統計に入 れない。	△		
川尻八幡宮	1525年	南北朝／室町 ／戦国	相模原市緑区川 尻	※川端ではない。	×		
戸越八幡神社	1526年	南北朝／室町 ／戦国	品川区	※旧河川沿い。	◎		
下宮八幡宮	1532年～1554年	南北朝／室町 ／戦国	古河市宮前町	※栃木県旧谷中村に鎮座。谷中村 は渡良瀬遊水池の工事で廃村。八 幡宮は遷座。川端。	◎		
春日八幡宮	1548年	南北朝／室町 ／戦国	清須市	※かつては下之郷村（現清須市春 日）に鎮座。川端。	◎		
軽米八幡宮	1558～1569年	南北朝／室町 ／戦国	軽米町	※川端。	◎		
瑞丘八幡神社	1564年	南北朝／室町 ／戦国	神戸市垂水区高 丸	※川端ではない。	×		
東大谷八幡神社	1573年～1591	南北朝／室町 ／戦国	掛川市	※川端。	◎		
池田八幡神社	1573年～1592年	南北朝／室町 ／戦国	池田町	※川端。	◎		
中原八幡宮	1579年	南北朝／室町 ／戦国	北九州市戸畑区	※川端。	◎		
宇佐八幡宮	1583年	南北朝／室町 ／戦国	土佐市	※川端。	◎		
水戸八幡宮	1592年	南北朝／室町 ／戦国	水戸市八幡町	※もと北見町に鎮座。川端。	◎		
部屋八幡宮	1596～1615年	南北朝／室町 ／戦国	栃木市藤岡町部 屋	※川端。	◎		
山本八幡宮	15世紀中頃	南北朝／室町 ／戦国	富士宮市	※川端。	◎	◎（川端）の数	39
野間八幡宮	1602年前後	南北朝／室町 ／戦国	福岡市南区	※川端ではない。	×	△（地勢不明）の数	2
烏須井八幡神社	南北朝	南北朝／室町 ／戦国	栗原八幡神社	※川端。「井戸を掘る際、白が出 たので烏須井」との伝承あり。 「ウテウル＝間（川に挟まれた間 の土地）」とするのが地勢上ふさ わしい。	◎	×（川端ではない）の数	7
大崎八幡宮	室町時代	南北朝／室町 ／戦国	仙台市青葉区	※もとは、大崎市田尻町に立地。 川端。	◎	「南北朝／室町／戦国時代」 の「八幡神社」が「川端」の 確率	85%
弘前八幡宮	1612年	江戸	弘前市	※もと大浦郷八幡(旧岩木町八 幡)に鎮座。川端。地名が八幡。 1612年に現在地に遷座。	◎		
益岡八幡宮	1685年	江戸	白石市	※川端。	◎		
寒河江八幡宮	1685年	江戸	山形県寒河江市	※もと高瀬山に鎮座。川端。	◎		
大館八幡神社	1610年	江戸	大館市	※川端。	◎		
塙田八幡宮	1641年またはそれ以前の古 社を再建	江戸	宇都宮市塙田	※八幡山にある神社。八幡山は田 川沿い。	◎		
御嶽八幡神社	江戸末期	江戸	飯能市	※川端ではない。	×		
鶴ヶ丸八幡神社	1626年	江戸	川口市芝	※川端。	◎		

駒林八幡神社	室町or江戸前期	江戸	ふじみ野市駒林	※川端。	◎		
八幡神社	1629年	江戸	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷	※川端の名残はあるが、後世の開発で不明なので統計に入れない。	△		
八幡神社	1761年	江戸	白井市復	※川端ではない。	×		
八幡神社	1676年	江戸	船橋市滝台	※川端ではない。	×		
誉田八幡神社	1673年～1680年	江戸	習志野市	※船橋市夏見で創祀。川端。	◎		
富岡八幡宮	1627年	江戸	江東区	※川端。	◎		
正八幡神社	1611年	江戸	文京区	※平川、白鳥池沿い。	◎		
三谷八幡神社	1673年～1704年	江戸	品川区	※旧立会川沿い。	◎		
井波八幡宮	1645年	江戸	南砺市	※谷地区に鎮座の大森神社が前身。川端ではない。	×		
若宮八幡社	1693年	江戸	富山市	※川端。	◎		
国府八幡神社	江戸初期	江戸	藤井寺市国府	※川端。市野山古墳周濠沿い。	◎		
澤田八幡神社	江戸初期	江戸	藤井寺市沢田	※仲津山古墳周濠沿い。江戸期に誉田八幡宮から勧請。統計に入れない。	△		
山本八幡宮	1716年	江戸	八尾市山本町	※川端。	◎		
加古八幡神社	1658年	江戸	加古郡稲美町	※川端ではないが、池畔。この辺りは古代から湿地帯だった。	◎		
椎尾八幡宮	1626年	江戸	岩国市	※川端。	◎		
八幡神社	1697年	江戸	徳島市伊賀町	※川端。	◎		
椎宮八幡神社	1661年	江戸	徳島市南佐古	※川端ではない。	×		
銅之鳥居八幡神社	1604年	江戸	徳島市八万町	※川端。	◎		
正八幡神社	1633年	江戸	阿南市見能林町	※川端。	◎		
乳山八幡神社	1662年	江戸	北九州市八幡東区	※豊山八幡宮が遠いので、現在地に勧請。統計に入れない。	△		
月瀬八幡宮	1638年	江戸	中間市	※川端。	◎	◎ (川端) の数	22
福島八幡宮	1661年	江戸	八女市	※川端。	◎	△ (地勢不明) の数	4
塩屋八幡宮	1632年	江戸	八代市	※川端。	◎	× (川端ではない) の数	5
牛深八幡宮	1637年以前	江戸	天草市	※河口か。湾沿い。不明なので統計に入れない。	△	「江戸時代」の「八幡神社」が「川端」の確率	81%
黄瀬川八幡神社	平安末期以前		駿東郡清水町八幡	※川端。源頼朝と義経の対面の場。	◎		
八幡神社	創建は不明だが式内社荒方神社の論社		大垣市墨俣町	※もと北方、犀川河川敷に鎮座。川端。	◎		
八幡神社	573年～1592年以前		吉野川市川島町児島	※川端。	◎		
塩田八幡宮	810年以前		神戸市北区道場町塩田	※川端。	◎		
誉田八幡神社	841年以前		東かがわ市	※川端。	◎		
高知八幡神社	877年～885年以前		西条市	※川端ではない。	×		
大久佐八幡宮	871年以前		小牧市大草	※もと大叢山福厳寺の場所に鎮座。川端。池畔。	◎		
小山八幡神社	1030年以前		品川区	※旧立会川沿い。	◎		
生目神社(生目八幡宮)	1056年以前		宮崎市	※川端。漢字表記にこじつけて「目の神様」とされていますが、縄文語解釈では「エンコルマ=岬の谷川」が相応しく、地勢どおりです。	◎		
平濱八幡宮	1111年以前		松江市八幡町	※川端。もと八幡荘。	◎		
首途八幡宮	1174年以前		京都市上京区	※堀川に近いが、後世の開発で不明。統計に入れない。	△		
新庄八幡宮	1181年以前		佐賀市	※川端。	◎		
上地八幡宮	1184年以前		岡崎市上地町	※川端ではない。	×		
栗枝渡八幡神社	1186年以前		三好市東祖谷山	※川端ではない。	×		
川田八幡神社	1189年以前		吉野川市山川町八幡	※川端。	◎		
八幡春日神社	平安中期以前		鎌ヶ谷市	※川端ではない。	×		
蒲生八幡神社	平安末以前		北九州市小倉南区	※川端。	◎		
倉田八幡宮	1208年以前		鳥取市	※川端。	◎		
鳴海八幡宮	1232年以前		名古屋市緑区	※川端。	◎		

御所八幡宮	1278年以前		京都市中京区	※鴨川沿い。統計に入れない。	△		
北条八幡宮	1283年以前		東伯郡北栄町	※川端。	◎		
鳩ヶ嶺八幡宮	鎌倉以前		飯田市	※もとは飯田市松尾に鎮座した島田八幡宮。いずれも川端。「松尾=マーテュオ=波打ち際の尻」。	◎		
今八幡宮	鎌倉以前		山口市	※大内氏館に隣接。もともと現在地にあったかどうか不明。統計に入れない。	△		
尾久八幡神社	南北朝以前		荒川区	※川端。	◎		
烏帽子形八幡神社	1332年以降		河内長野市喜多町	※烏帽子形城の守護として勧請。統計に入れない。	△		
赤塚八幡神社	室町以前		板橋区赤塚	※旧赤塚川沿い。	◎		
水無八幡神社 (旧松森神社)⇒ google map (※ 創建は不明だが、戦国期に八幡神社に改称／下呂市森)	※創建は不明だが、戦国期に八幡神社に改称		下呂市森	※創建は不明だが、戦国期に八幡神社に改称／下呂市森) ※川端。「松森=マーテュウンモルム=波打ち際(川端)にある小さな岬」とすれば、地勢と完全一致します。	◎		
八幡神社	1345年以前		宝塚市中筋	※川端。	◎		
磯部八幡宮	1356年以前		相模原市南区磯部	※川端。	◎		
巽祖八幡宮	1359年以前		飯塚市	※川端。所在地「飯塚=エテユカ=岬のほとり」。由緒には「いつかまた逢いましょう」の意味だとあります。	◎		
大宮八幡神社	1395年以前		阿南市福井町	※川端。	◎		
赤穂八幡宮	1406年以前		赤穂市尾崎	※1406年に現在地に遷座。それ以前は銭戸島に鎮座。いずれも川端。	◎		
若宮八幡社	1440年以前		豊川市伊奈町	※川端ではない。	×		
伊倉南八幡宮	中世以前		玉名市	※川端ではない。宇佐八幡宮が玉名郡司日置氏の荘園を買い、直接経営したことに由来。	×		
平八幡神社	1454年以前		吉野川市美郷	※もと現在地より約2km西方の峠に鎮座していた八幡社。川端ではない。	×		
入鹿八幡宮	1491年以前		熊野市紀和町小栗須	※川端。	◎		
御田八幡宮	1496年以前		室戸市	※川端。	◎		
城山八幡宮	1500年以前		名古屋市千種区	※もとは城山(末森城)の東北の麓、千種区春里町2丁目南端(現在地より300メートル程東北)に鎮座していた(※参考:城山八幡宮公式HP)。※川端ではない。	×		
山崎八幡神社	1573年~1591年以前		掛川市	※川端。石津八幡山に立地。	◎		
横屋八幡神社	1573年~1591年以前		神戸市東灘区魚崎北町	※天上川と住吉川に挟まれた立地。かつては西方約200mに湧水があり、住吉川周辺に広範囲に玉石帯(川跡)も認められる。	×		
位登八幡神社	1583年以前		田川市	※川端ではない。	×		
子安八幡神社	1596年~1615年以前		甲府市	※川端。	◎		
勝山八幡神社	1602年以前		松山市	※もと勝山(松山城)山上に鎮座。川端。旧石手川沿い。	◎		
八幡神社	1675年以前		松戸市高塚新田	※川端ではない。	×		
宇迦八幡宮	1720年以前		江東区	※川端。	◎		
白鳥八幡宮	戦国初期以前		小山市白鳥	※川端ではない。	×		
兵主八幡両神社	戦国以前		柏市	※川端。	◎		
大宮八幡宮 (戦国以前/塩尻市)	戦国以前		塩尻市	※川端ではない。	×		

八幡神社⇒ google map (戦国以前/浜松市南区東若林町)	戦国以前		浜松市南区東若林町	※馬込川の川端。離れているように見えるが、馬込川はかつて天竜川の本流で、江戸の治水事業以前はこの周辺一帯に天竜川の支流が網の目状に入り組んで流れていた。	◎		
南長柄八幡宮	戦国以前		大阪市北区長柄中	※川端。	◎		
今福八幡神社	戦国以前		加古川市尾上町今福	※川端。	◎		
大宮八幡宮	戦国以前		三木市本町	※川端。	◎		
三入八幡神社	戦国以前		広島市安佐北区可部町下町屋	※もとは草田の峠八幡神社を分社して高松城の氏神とした。峠八幡は水脈沿いだが、川沿いと言えるかどうかは微妙。統計に入れない。	△		
鮫洲八幡神社	1661年～1673年以前		品川区	※東京湾沿い。	□		
八幡社	1671年以前		春日井市柏井町	※かつては下条本郷に鎮座。庄内川沿い。	◎		
岩田八幡宮	1647年以前		豊橋市中岩田	※1647年、豊川河畔の吉田城内の天王社にあった八幡社を遷座。川端。	◎		
久居八幡宮	1670年以前		津市久居	※久居小戸木町から江戸期に移転。もと川端。	×		
湊八幡神社	1682年以前		神戸市兵庫区兵庫町	※古湊川沿い。	◎		
国信八幡神社	1630年以前		西伯郡大山町	※後世の開発で不明。統計に入れない。	△		
左手宮八幡神社	1678年以前		名西郡神山町	※川端。	◎		
椿八幡神社	1856年以前		阿南市椿町	※川端。	◎		
中目黒八幡神社	江戸初期以前		目黒区	※目黒川沿い。	◎		
宇佐美八幡神社	江戸前期以前		伊東市宇佐美八幡	※川端。	◎		
市川八幡神社	江戸前期以前		市川市市川	※もと国道沿い。工事で遷座。川端。	◎		
中村八幡神社	江戸前期以前		練馬区	※川端ではない。	×		
魚津八幡宮	江戸後期以前		魚津市	※川端。	◎		
津八幡宮	江戸前期以前		津市八幡町	※もとは西方約7～800mの千歳山に鎮座。池畔。1632年遷座。	×	◎ (川端) の数	47
亀岡八幡宮	江戸末期以前		逗子市逗子	※川端。	◎	△ (地勢不明) の数	6
柴又八幡神社	江戸以前		葛飾区	※川端。創建は不詳だが、柴又八幡神社古墳の上に建つ。	◎	× (川端ではない) の数	16
高根八幡神社	江戸以前		尾道市瀬戸田町高根	※島と島の間。瀬戸田水道沿い。	◎	「創建時期不明」の「八幡神社」が「川端」の確率	75%

「八幡神社」が「川端」の確率	◎ (川端) の数	372
	△ (地勢不明) の数	46
	× (川端ではない) の数	79
	「八幡神社」が「川端」の確率	82%

## 「神明社」の地勢が「川端」の確率

© 2022 Kagetsu Kinoue

※大河川の場合は川から500m、中河川の場合は300m、小河川の場合は100m、小川の場合は50mを「川端」の目安とします。河岸段丘も川幅として考慮します。

※神社は合祀令等、統廃合が激しいので、江戸期以前創建のものに限り、創建時期や由緒が不明なものは統計に入れませんが、数字は創建年。

※城、屋敷に付属の神社、境内社は、統計に入れませんが。

神社名	創建	時代区分	所在地	地勢	川端判定	「神明社」が「川端」の確率	
天津神明宮	神代or1184年	奈良以前	千葉県鴨川市	※川端。もともと事代主神が祭神。1184年に伊勢より勧請。統計に入れない。	△		
阿紀神社(阿貴宮、神戸大神宮、神戸明神)	神代	奈良以前	奈良県宇陀市	※神楽岡で創建。川端。	◎		
男成神社	神武天皇	奈良以前	熊本県上益城郡山都町	※神武天皇は実在しないので、可能性があるとするならば同一人物の崇神天皇時代の創建。川端。	◎		
幣立神社	神武天皇	奈良以前	熊本県上益城郡山都町	※神武天皇は実在しないので、可能性があるとするならば同一人物の崇神天皇時代の創建。川端ではない。	×		
神明神社	垂仁天皇or771年	奈良以前	愛知県知多郡南知多町篠島	※川端ではない。島。	×		
所澤神明社	景行天皇	奈良以前	埼玉県所沢市宮本町	※川端。	◎		
神明神社	景行天皇	奈良以前	埼玉県久喜市	※川端。	◎		
意富比神社(船橋大神宮)	景行天皇	奈良以前	千葉県船橋市宮本	※川端。	◎		
阿佐ヶ谷神明宮	景行天皇	奈良以前	東京都杉並区阿佐谷北	※桃園川沿い。	◎		
田沢神明宮	景行天皇	奈良以前	長野県安曇野市豊科田沢	※川端。	◎		
日向大神宮(東山神明宮)	第二十三代顕宗天皇	奈良以前	京都府京都市山科区	※川端ではない。	×		
皇大神社	第二十三代顕宗天皇	奈良以前	京都府福知山市	※川端。	◎		
磐境神明神社	第二十四代仁賢天皇	奈良以前	徳島県美馬市穴吹町口山	※川端。	◎		
湊町神明社	650年～654年	奈良以前	愛知県豊橋市湊町	※川端。	◎		
会田御厨神明宮	687年	奈良以前	長野県松本市会田	※川端。	◎		
大岩神明宮	698年	奈良以前	愛知県豊橋市大岩町	※岩屋山で創建。川端ではない。	×	◎ (川端) の数	12
甘縄神明神社	710年	奈良以前	神奈川県鎌倉市長谷	※川端ではない。	×	△ (地勢不明) の数	1
高畑神明社	729年～749年	奈良以前	愛知県名古屋市中川区高畑	※川端ではない。	×	× (川端ではない) の数	6
御所原大神宮	765年～767年	奈良以前	山口県長門市	※川端。	◎	「奈良時代以前」の「神明社」が「川端」の確率	67%
神明社	807年	平安/鎌倉	宮城県白石市	※創建場所不明。統計に入れない。	△		
難波神明宮	821年	平安/鎌倉	大阪府大阪市北区曾根崎	※曾根崎の中州で創祀。	◎		
皇大神宮(神明宮烏森神社)	832年	平安/鎌倉	神奈川県藤沢市鶴沼	※川端ではない。	×		
朝日神明宮	858年～876	平安/鎌倉	京都府京都市下京区	※川端。統計に入れない。	△		
飯部磐座神社	873年	平安/鎌倉	福井県越前市	※川端。	◎		
蒲神明宮	874年	平安/鎌倉	静岡県浜松市東区	※もともとの祭神は蒲大神。統計に入れない。	△		
須倍神社	887年	平安/鎌倉	静岡県浜松市北区	※内宮は上都田須部の上の山で創建。外宮は下都田中津に鎮座。川端。	◎		
東田神明宮	902年	平安/鎌倉	愛知県豊橋市御園町	※川端。	◎		
神明神社	924年	平安/鎌倉	福井県福井市宝永	※川端。	◎		



朝日神社	938年～947年	平安／鎌倉	大阪府大阪市此花区 春日出中	※川端。	◎		
安久美神戸神明 社(豊橋神社)	940年	平安／鎌倉	愛知県豊橋市八町通	※川端。	◎		
神明社	970年	平安／鎌倉	神奈川県横浜市保土 ヶ谷区神戸町	※武州御厨の榛谷（保土ヶ 谷）の峯で創祀。詳細不明。 統計に入れない。	△		
芝大神宮(芝神明 宮)	1005年	平安／鎌倉	東京都港区芝大門： 日本七神明	※日比谷入江沿い。	◎		
元神明宮	1005年	平安／鎌倉	東京都港区三田	※日比谷入江沿い。	◎		
神明神社	1054年	平安／鎌倉	岩手県奥州市胆沢区 小山	※川端ではない。	×		
高円寺天祖神社	1087年	平安／鎌倉	東京都杉並区高円寺 南	※桃園川沿い。	◎		
神明神社	1149年	平安／鎌倉	奈良県桜井市下居	※式内社「下居神社」神社の 論社。創建地不明。もともと 神八井耳命が祭神。統計に入 れない。	△		
宮原三神宮	1161年	平安／鎌倉	熊本県八代郡氷川町	※川端。	◎		
堀切天祖神社	1165年	平安／鎌倉	東京都葛飾区堀切	※川端。	◎		
駒込天祖神社(駒 込神明宮)	1189年	平安／鎌倉	東京都文京区本駒込	※川端ではない。	×		
五城目神明社	1318年～1339年	平安／鎌倉	秋田県南秋田郡五城 目町	※川端ではない。	×		
高松神明神社	平安初期	平安／鎌倉	京都府京都市中京区	※川端ではない。統計に入れ ない。	△		
神明神社(神明皇 大神宮)	平安初期	平安／鎌倉	京都府宇治市宇治神 明	※川端ではない。	×		
神明社	平安中期	平安／鎌倉	東京都東久留米市中 央町	※川端。	◎		
能見神明宮	平安中期	平安／鎌倉	愛知県岡崎市元能見 町	※川端。	◎		
小浜皇大神社	平安中期	平安／鎌倉	兵庫県宝塚市	※兵庫県川西市多田で創建。 川端。	◎		
仁科神明宮	平安末期	平安／鎌倉	長野県大町市	※川端。	◎		
麻績神明宮	平安末期	平安／鎌倉	長野県東筑摩郡麻績 村	※川端。	◎		
神明神社	平安末期	平安／鎌倉	京都府京都市下京区	※川端ではない。統計に入れ ない。	△		
金杉神明社	平安	平安／鎌倉	千葉県船橋市金杉	※川端ではない。	×		
大神宮神社	平安	平安／鎌倉	長野県佐久市岩村田	※もと佐久市中央公園の場所 に鎮座。川端。	◎		
矢原神明宮(伊勢 神明社)	平安	平安／鎌倉	長野県安曇野市穂高	※川端。	◎		
潮神明宮	平安	平安／鎌倉	長野県安曇野市明科 東川手	※川端。	◎	◎(川端)の数	23
神明神社	平安	平安／鎌倉	三重県四日市市川島 町	※川端。	◎	△(地勢不明)の数	7
上平井天祖神社	鎌倉前期	平安／鎌倉	東京都葛飾区東新小 岩8丁目	※川端。	◎	×(川端ではない)の数	6
神明社	鎌倉末	平安／鎌倉	千葉県柏市塚崎	※川端。	◎	「奈良時代以前」の「神明 社」が「川端」の確率	79%
神明神社	1358年	南北朝／室町／戦国	山形県山形市	※川端。	◎		
神明神社	1369年	南北朝／室町／戦国	福島県会津若松市	※古川（会津若松市門田町） で創祀。詳細不明。統計に入 れない。	△		
神明宮	1376年	南北朝／室町／戦国	富山県砺波市鷹栖	※川端ではない。	×		
六本木天祖神社 (龍土神明宮)	1384年	南北朝／室町／戦国	東京都港区六本木	※谷沿い。	×		
矢留大神宮	1395年	南北朝／室町／戦国	福岡県柳川市矢留町	※川端。	◎		
新開大神宮	1445年	南北朝／室町／戦国	熊本県熊本市南区	※川端。	◎		
神明宮	室町中期	南北朝／室町／戦国	栃木県栃木市旭町	※川端でない。	×		
天照皇大神宮	室町末期	南北朝／室町／戦国	福岡県糟屋郡久山町	※川端。	◎		
山口大神宮	1520年	南北朝／室町／戦国	山口県山口市	※川端。	◎		

神明大神宮	1569年	南北朝／室町／戦国	神奈川県相模原市緑区橋本	※川端ではない。	×		
春の木神明社	1570年	南北朝／室町／戦国	神奈川県横浜市旭区東希望が丘	※川端ではない。	×		
神明神社	1570年～1573年	南北朝／室町／戦国	神奈川県鎌倉市台	※川端ではない。	×		
神明神社	1571年～1617年	南北朝／室町／戦国	大阪府大阪市大正区鶴町	※もと京都西院（淳和院）に鎮座。川端ではない。統計に入れない。	△	◎（川端）の数	6
伊勢神明社	1592年	南北朝／室町／戦国	静岡県静岡市駿河区	※川端ではない。池畔。	×	△（地勢不明）の数	3
梅田神明宮	1596年～1615年	南北朝／室町／戦国	東京都足立区梅田	※川端。	◎	×（川端ではない）の数	7
深川神明宮	1600年前後	南北朝／室町／戦国	東京都江東区森下	※川端。屋敷神。統計に入れない。	△	「南北朝／室町／戦国」の「神明社」が「川端」の確率	46%
大湫神明神社	1608年	江戸	岐阜県瑞浪市大湫町	※川端ではない。	×		
伊勢原大神宮	1615年～1624年	江戸	神奈川県伊勢原市	※川端ではない。	×		
櫻岡大神宮	1621年	江戸	宮城県仙台市青葉区	※川端。	◎		
岡田神明社	1622年	江戸	愛知県知多市	※川端ではない。	×		
山王神社(浦上皇大神宮)	1638年	江戸	長崎県長崎市坂本	※もと山王神社。統計に入れない。	△		
皇大神宮社	1649年	江戸	京都府宇治市広野町	※川端。	◎		
福野神明社	1652年	江戸	富山県南砺市福野	※川端ではない。	×		
小平神明宮	1661年	江戸	東京都小平市小川町	※川端ではない。	×		
神明宮	1664年	江戸	青森県五所川原市	※川端。	◎		
上小松天祖神社	1666年	江戸	東京都葛飾区東新小岩4丁目	※川端。	◎		
鎌数伊勢大神宮	1671年	江戸	千葉県旭市	※川端。	◎		
大館神明社	1675年	江戸	秋田県大館市中神明町	※もと古神明社（平安～江戸初期）。川端。	◎		
神明社	1688年～1704年	江戸	東京都世田谷区上祖師谷	※川端。	◎		
神明神社	1698年	江戸	埼玉県上尾市	※川端。	◎		
神明宮	1703年	江戸	愛知県岡崎市大高味町	※川端。	◎		
皇大神宮社	1711年	江戸	兵庫県西宮市	※川端。	◎		
神明宮	1713年	江戸	埼玉県草加市	※もと個人の屋敷神（1615年）。のち1713年に現在地に遷座。草加宿の鎮守。統計に入れない。	△		
神明社	1736年	江戸	東京都東久留米市南町	※川端ではない。	×		
神明神社	1751年～1764年	江戸	千葉県船橋市薬台台	※川端ではない。	×		
神明神社	1755年	江戸	埼玉県幸手市	※川端。	◎		
御嶽山御嶽神明社	1772年	江戸	岩手県一関市	※川端ではない。	×	◎（川端）の数	12
三ツ池神明神社	1772年～1781年	江戸	岐阜県各務原市鶴沼三ツ池町	※川端ではない。	×	△（地勢不明）の数	3
神明神社(宇宿神明神社鹿兒島えびす神社)	1818年～1830年	江戸	鹿児島県鹿兒島市宇宿	※川端。	◎	×（川端ではない）の数	9
神明神社	1832年	江戸	大阪府堺市堺区	※川端。もともと稲荷神が祭神。統計に入れない。	△	「江戸時代」の「神明社」が「川端」の確率	57%
大麻止乃豆乃天神社	905年以前		東京都稲城市大丸の境内社	※川端。	◎		
奥戸天祖神社	1165年以降		東京都葛飾区奥戸	※川端。	◎		
扇田神明社	1185年以前		秋田県大館市比内町扇田	※川端。	◎		
高砂天祖神社	鎌倉～室町		東京都葛飾区高砂	※川端。	◎		
神明社	南北朝以前		東京都世田谷区祖師谷	※川端ではない。	×		
神明神社	1393年以前		埼玉県飯能市	※川端ではない。	×		
下小松天祖神社	1398年以前		東京都葛飾区新小岩	※川端。	◎		

神明神社	1458年以前		福井県勝山市	※創建場所不明。統計に入れない。	△		
神明社	1494年以前		愛知県常滑市	※もと瀬木の千代の峰に祀られていた。※川端ではない。	×		
宮谷神明宮	1536年以前		岐阜県下呂市萩原町	※川端。	◎		
城端神明宮	1574年以前		富山県南砺市城端	※もと直海郷伊勢領に鎮座。川端。1574年に現在地に遷座。	◎		
刈谷沢神明宮	1583年以前		長野県東筑摩郡筑北村	※川端。	◎		
神明天祖神社	1584年以前		東京都杉並区南荻窪	※川端ではない。	×		
神明神社	1585年以前		和歌山県和歌山市	※もと吹上の山に鎮座。川端。	◎		
木間塚神明社	1591年以前		宮城県遠田郡美里町	※もと亶理郡坂元本郷（山元町南部）に鎮座。地勢不明。統計に入れない。	△		
皇大神社	1606年以前		奈良県奈良市平松町	※川端ではない。堀端。垂仁天皇陵の陪家に鎮座。	×		
神明神社	1609年以前		三重県鳥羽市相差町	※川端ではない。	×		
土崎神明社	1620年以前		秋田県秋田市土崎港中央	※もと肝煎個人の氏神。統計に入れない。	△		
伊勢宮神社(伊勢宮)	1639年以前		長崎県長崎市伊勢町	※川端。	◎		
神明社	1658年以前		愛知県瀬戸市落合町	※川端。	◎		
神明社	1662年以前		愛知県長久手市	※川端。	◎		
神明宮	1674年以前		愛知県岡崎市木下町	※川端。	◎		
神明宮	1701年以前		愛知県岡崎市檜山町	※川端。	◎		
神明神社	1705年以前		神奈川県川崎市高津区下作延	※川端。	◎		
神明神社	1716年～1736年以前		神奈川県中郡大磯町	※紅葉山で創祀（永室助稻荷神社の後背、北方の山）。川端ではない。	×		
神明神社	1823年以前		神奈川県川崎市宮前区有馬	※川端。	◎		
角館總鎮守神明社	安土桃山		秋田県仙北市角館町岩瀬	※もと古城山（角館城）に鎮座。川端。統計に入れない。	△		
神明社	江戸以前		さいたま市岩槻区	※川端。	◎		
高根町神明神社	江戸以前		千葉県船橋市高根町	※川端ではない。	×		
神明神社	江戸以前		東京都世田谷区船橋	※川端ではない。	×		
菅田神明社	江戸以前		神奈川県横浜市神奈川区菅田町	※川端ではない。	×		
日吉神社	江戸以前		神奈川県横浜市港北区日吉	※川端。	◎		
切割神明社	江戸以前		神奈川県横浜市旭区南本宿町	※川端ではない。	×	◎（川端）の数	19
金沢神明宮	江戸初期以前		石川県金沢市	※川端。	◎	△（地勢不明）の数	6
愛知神明社			愛知県名古屋市中川区愛知町	※もととも熊野社。統計に入れない。	△	×（川端ではない）の数	11
長崎大神宮			長崎県長崎市栄町	※もととも諏訪神社。統計に入れない。	△	「創建時期不明」の「神明社」が「川端」の確率	63%

「神明社」が「川端」の確率	◎（川端）の数	72
	△（地勢不明）の数	20
	×（川端ではない）の数	39
	「神明社」が「川端」の確率	65%

## 「天満宮」の地勢が「川端」の確率

© 2022 Kagetsu Kinoue

※大河川の場合は川から500m、中河川の場合は300m、小河川の場合は100m、小川の場合は50mを「川端」の目安とします。河岸段丘も川幅として考慮します。

※神社は合祀令等、統廃合が激しいので、江戸期以前創建のものに限り、創建時期や由緒が不明なものは統計に入れませんが、数字は創建年。

※城、屋敷に付属の神社、境内社は、統計に入れませんが。

※天神、菅原道真、菅原道真の祖である天穂日命系を祀る神社とする。

神社名	創建	時代区分	所在地	地勢	川端判定	「天満宮」が「川端」の確率	
高天彦神社	原始信仰	奈良以前	御所市	※ご神体は背後の白雲岳。統計に入れない。	△		
静岡天満宮	原始信仰	奈良以前	静岡市葵区	※川端。もともと菅原道真が祭神ではない。統計に入れない。	△		
穴澤天神社	孝安天皇	奈良以前	稲城市	※もともと少彦名または土地神の穴澤神が祭神。菅原道真ではない。統計に入れない。	△		
家島神社(家島天満社)	神武天皇	奈良以前	姫路市	※もともと天神信仰。神武天皇は実在しない。可能性としてあるならば、神武天皇と同一人物の崇神天皇か。海沿い。	×		
布多天神社	第十一代垂仁天皇	奈良以前	調布市	※もと布田5丁目に鎮座。川端。もともと少彦名が祭神。菅原道真ではない。統計に入れない。	△		
桐生天満宮	景行天皇	奈良以前	桐生市	※もともと磯部明神。菅原道真が祭神ではない。川端。統計に入れない。	△		
北野天神社	日本武尊	奈良以前	所沢市	※もともと菅原道真が主祭神ではない。メインは物部氏の氏神、ニギハヤヒか。統計に入れない。	△		
五條天神社	日本武尊	奈良以前	台東区	※上野忍丘で創祀。不忍池(古石神井川)沿い。もともと菅原道真が主祭神ではない。統計に入れない。	△		
天満神社	成務天皇	奈良以前	高山市	※飛騨国造大八椅命が天津上を祀ったのが創祀。統計に入れない。	△		
服部天神宮	412年～453年	奈良以前	豊中市	※もともと菅原道真が主祭神ではない。天穂日命の子の武日照命が祭神。川端ではない。	×		
湯島天満宮	458年	奈良以前	文京区	※もともと菅原道真が主祭神ではない。天之手力雄命。統計に入れない。	△		
天満神社	653年	奈良以前	加古郡稲美町	※もともと王子権現。菅原道真が祭神ではない。統計に入れない。	△		
菅原神社	675年	奈良以前	上越市	※川端ではない。主祭神は天穂日命。	×		
露天神社	700年	奈良以前	大阪市北区	※もともと菅原道真が主祭神ではない。住吉住地曾根神が祭神。統計に入れない。	△		
飛鳥神社	718年	奈良以前	奈良市	※川端ではない。元興寺の鎮守社として創建。統計に入れない。	△		
紀部神宮(紀部神社、木部天神社)	729年～749年	奈良以前	池田市	※もともと紀部氏の氏神を祀る。統計に入れない。	△		
九所御霊天神社	729年～749年	奈良以前	姫路市	※川端ではない。市川の旧流路は姫路城の西側。もともと菅原道真が主祭神ではない。	△	◎(川端)の数	1
淀川天神社	738年	奈良以前	大阪市北区	※もともと天穂日命が祭神。川端。	◎	△(地勢不明)の数	16
水鏡天神社	759年	奈良以前	奈良市	※唐招提寺の鎮守。統計に入れない。	△	×(川端ではない)の数	3
佐保川天満宮	奈良	奈良以前	奈良市	※多聞山で創祀。聖武天皇の菩提寺である眉間寺の鎮守。統計に入れない。	△	「奈良時代以前」の「天満宮」が「川端」の確率	25%
海津天神社	804年	平安/鎌倉	高島市	※もと大野神社。もともと菅原道真が主祭神ではない。統計に入れない。	△		

大嵐天神社	807年	平安／鎌倉	南都留郡富士河口湖町	※川沿いではないが、湖畔。もともと菅原道真が主祭神ではない。大己貴神、少彦名神が祭神。統計に入れない。	△		
國片主神社	811年	平安／鎌倉	岐阜市	※主祭神は少彦命。統計に入れない。	△		
小白川天満宮	825年	平安／鎌倉	山形市	※もともと祭神は日本武尊と地主神。菅原道真が祭神ではない。川端。統計に入れない。	△		
綱敷天神社	843年	平安／鎌倉	大阪市北区	※もともと菅原道真が主祭神ではない。嵯峨天皇が祭神。統計に入れない。	△		
氷川天満神社	869年	平安／鎌倉	桶川市	※川端ではない。	×		
綾野天満宮	878年～926年	平安／鎌倉	甲賀市	※藤栄神社の地で創祀。川端ではない。	×		
古城天満宮	879年	平安／鎌倉	羽生市	※川端。藤原秀郷流の屋敷の鎮護。統計に入れない。	△		
生身天満宮	901年	平安／鎌倉	南丹市	※川端。	◎		
臂岡天満宮	901年～923年	平安／鎌倉	伊丹市	※川端。	◎		
菅原神社	903年	平安／鎌倉	上里町	※川端ではない。	×		
天神社(休天神)	903年	平安／鎌倉	明石市	※川端ではない。	×		
成子天神社	903年以前	平安／鎌倉	新宿区	※もともと菅原道真が祭神ではない。大神宮(祭神：天照大神)が前身。統計に入れない。	△		
防府天満宮	904年	平安／鎌倉	防府市	※川端ではない。	×		
潮江天満宮	905or906年	平安／鎌倉	高知市	※川端。	◎		
柳原天神社	905年	平安／鎌倉	神戸市兵庫区	※川端ではない。大阪湾沿い。	×		
福島天満宮	907年	平安／鎌倉	大阪市福島区	※川端。	◎		
太宰府天満宮	919年	平安／鎌倉	太宰府市	※川端。	◎		
谷保天満宮	921年	平安／鎌倉	国立市	※川端ではない。	×		
飛騨天満宮	923年	平安／鎌倉	高山市	※川端。	◎		
水火天満宮	923年	平安／鎌倉	京都市上京区	※もと上京区上天神町に鎮座。統計に入れない。	△		
大生郷天満宮	929年	平安／鎌倉	常総市	※真壁町羽鳥で創祀。地勢不明。統計に入れない。	△		
駿馬天満宮	933年	平安／鎌倉	大牟田市	※川端ではない。	×		
吉祥院天満宮	934年	平安／鎌倉	京都市南区	※川端。もともと菅原道真が主祭神ではない。統計に入れない。	△		
冠天満宮	935年	平安／鎌倉	光市	※川端ではない。海沿い。	×		
梅林天満宮	936年	平安／鎌倉	玉名市	※もと安楽寺上村に鎮座。川沿いではない。	×		
大野天満宮	938年	平安／鎌倉	市川市	※近隣の天満天神宮で創祀。川端ではない。	×		
文子天満宮	942年	平安／鎌倉	京都市下京区	※統計に入れない。	△		
安居神社	942年	平安／鎌倉	大阪市天王寺区	※川端ではない。	×		
屯倉神社(三宅天満宮)	942年	平安／鎌倉	松原市	※もともと天穂日命を祀る。川端。	◎		
鴨田天満宮	947年	平安／鎌倉	岡崎市	※川端ではない。	×		
北野天満宮	947年	平安／鎌倉	京都市上京区	※ 統計に入れない。	△		
道明寺天満宮	947年	平安／鎌倉	藤井寺市	※川端。	◎		
玉造天満宮	947年～957年	平安／鎌倉	松江市	※川端。	◎		
小平瀨天満宮	948年	平安／鎌倉	耶麻郡猪苗代町	※川端ではない。湖畔。	×		
與喜天満神社	948年	平安／鎌倉	桜井市	※川端。	◎		
長尾天満宮	949年	平安／鎌倉	京都市伏見区	※醍醐寺の氏神。統計に入れない。	△		
大阪天満宮	949年	平安／鎌倉	大阪市北区	※もともと大將軍社。統計に入れない。	△		
蹉跎神社(蹉跎天満宮)	951年	平安／鎌倉	枚方市	※蹉跎山で創建。川端ではない。	×		
菅原天満宮	951年	平安／鎌倉	松江市	※川端。	◎		
犬丸天満宮	956年	平安／鎌倉	中津市	※川端。池畔。	◎		
天満宮	959年	平安／鎌倉	守山市	※東門院の鎮護として勧請。統計に入れない。	△		

威徳天満宮	959年	平安／鎌倉	吉野町	※川端ではない。	×		
萩原神社	960年	平安／鎌倉	堺市東区	※川端ではない。池畔。	×		
和歌浦天満宮	964年～968年	平安／鎌倉	和歌山市	※川端。池畔。別名の「網敷天神」は「鱧網を敷物にした」のが由来ではなく、「網敷=テュンナイチャケ=谷川の岸のところ」ではないか。日本の神様は皆大嘘つき。	◎		
沖友天満宮	971年	平安／鎌倉	呉市	※川端ではない。海沿い。	×		
榴岡天満宮	974年	平安／鎌倉	仙台市宮城野区	※山城国で創建(974)、のち陸奥国宇陀郡(福島県)に勧請、宮城県柴田郡川内村に遷座。地勢不明。現在地に遷座したのは1667年。統計に入れない。	△		
天満神社	980年	平安／鎌倉	敦賀市栄新町	※川端。	◎		
天満神社	985年～987年	平安／鎌倉	敦賀市公文名	※川端。	◎		
平野天満宮	989年	平安／鎌倉	南都留郡山中湖村	※川沿いではないが、湖畔。	×		
上宮天満宮	993年	平安／鎌倉	高槻市	※もともと菅原道真が主祭神ではない。少彦名命が祭神。統計に入れない。	△		
菅原神社	997年	平安／鎌倉	堺市堺区	※創祀場所不明。統計に入れない。	△		
錦天満宮	1003年	平安／鎌倉	京都市中京区	※統計に入れない。	△		
浜宮天神社	1012年	平安／鎌倉	加古川市	※川端。	◎		
靈光殿天満宮	1018年	平安／鎌倉	京都市上京区	※河内国若江郡で創建。創建地詳細不明。統計に入れない。	△		
松館菅原神社	1022年	平安／鎌倉	鹿角市	※川端ではない。	×		
朝日森天満宮	1023年	平安／鎌倉	佐野市	※当初は唐沢山の天神沢に鎮座。川端。	◎		
北野天満宮	1054年	平安／鎌倉	久留米市	※川端。	◎		
御袖天満宮	1069～1074年	平安／鎌倉	尾道市	※川端ではない。海沿い。	×		
山崎菅原神社	1070年	平安／鎌倉	熊本市	※白川のほとりの南領森本で創祀。川端。	◎		
天神社	1078年	平安／鎌倉	奈良市	※川端ではない。もともと菅原道真が主祭神ではない。少彦名命。統計に入れない。	△		
長浜天満宮	1113年～1117年	平安／鎌倉	浜田市	※川端ではない。海沿い。	×		
荏柄天神社	1140年	平安／鎌倉	鎌倉市	※川端。	◎		
尾長天満宮	1146年	平安／鎌倉	広島市東区	※川端ではない。当時は海沿い。もともと天神信仰。	×		
輪島前神社	1154年	平安／鎌倉	輪島市	※川端。もともと少彦名命が祭神。菅原道真が祭神ではない。統計に入れない。	△		
金谷天満宮	1160年～1214年	平安／鎌倉	萩市	※創建地不明。統計に入れない。	△		
北野天満神社	1180年	平安／鎌倉	神戸市中央区	※川端ではない。	×		
千葉天神	1182年	平安／鎌倉	千葉市	※千葉神社の摂社。統計に入れない。	△		
牛天神北野神社	1184年	平安／鎌倉	文京区	※川端。白鳥池沿い。	◎		
櫛原天満宮	1189年	平安／鎌倉	久留米市	※川端。	◎		
桜天満宮	1190年	平安／鎌倉	亀岡市	※積善寺の境内社。統計に入れない。	△		
宮崎天満宮	1190年	平安／鎌倉	宮崎市	※川端。	◎		
矢田天満宮	平安	平安／鎌倉	亀岡市	※山城国久世村(現久御山町)で創祀。詳細不明。統計に入れない。	△		
子安天満宮	平安	平安／鎌倉	高槻市	※川端ではない。	×		
菅原神社(千代田神社)	平安	平安／鎌倉	河内長野市	※川端。	◎		
津田天満神社	平安	平安／鎌倉	姫路市	※もともと大歳明神が祭神。統計に入れない。	△		
天満宮	平安	平安／鎌倉	出雲市	※川端ではない。	×		
滝宮天満宮	平安	平安／鎌倉	綾歌郡綾川町	※川端。	◎		

水鏡天満宮	平安	平安／鎌倉	福岡市中央区	※中央区今泉で創建。川端。水鏡に姿を映したという由緒も作り話の可能性が高い。「モイチャウンカックムイ＝入り江の岸にある形が弓の頂」で、入り江端の弓型の丘陵を指したのではないか。	◎		
鏡天満宮	平安	平安／鎌倉	福岡市博多区	※川端。別名の「奴天神」は「奴＝ヤケ＝岸边」。	◎		
綱敷天満宮	平安	平安／鎌倉	福岡市博多区	※川端。「綱敷＝テュンナイチャケ＝谷川の岸のところ」。別名の「綱輪」は「テュンナイワ＝谷川の岸」、地名の「綱場」も「テュンナイバ＝谷川の岸」で同義。「綱を敷物代わりにした」という由緒は明らかにウソ。	◎		
船津天満宮	平安	平安／鎌倉	大牟田市	※もともと這松天満宮の地で創祀。統計に入れない。	△		
這松天満宮	平安	平安／鎌倉	大牟田市	※川端。「地を這うような松があったので這松」というような漢字表記にこじつけた由来はことごとくウソです。「這松」は「ハイマーテュ＝水が引いたところの波打ち際」で、地名の「船津＝ブツナチャ＝川口の方の岸」とほぼ同義です。	◎		
綱敷天満宮	平安	平安／鎌倉	築上郡築上町	※由緒の「船の綱を円座に敷いて道真公を迎えた」はもちろんウソです。「綱敷＝テュンナイチャケ＝谷川の岸のところ」。川端。	◎		
萩原天満宮	平安	平安／鎌倉	八代市	※萩原祈禱の森で創祀。川端。	◎		
曾根天満宮	平安初期	平安／鎌倉	高砂市	※川端。	◎		
天満神社	平安前期	平安／鎌倉	与謝野町加悦天満宮	※峰山町二箇で創建。川端。	◎		
綱敷天満神社	平安前期	平安／鎌倉	神戸市東灘区	※もと御影山手に鎮座で、祭神は菅原道真ではなく、別雷神。統計に入れない。	△		
綱敷天満宮	平安前期	平安／鎌倉	神戸市須磨区	※川端ではない。大阪湾沿い。	×		
大塩天満宮	平安前期	平安／鎌倉	姫路市	※創建地が不分明。統計に入れない。	△		
三刀屋天満宮	平安前期	平安／鎌倉	雲南市	※川端ではない。	×		
梶返天満宮	平安前期	平安／鎌倉	宇部市	※川端ではない。海沿い。梶返（かじがえし）の由来が「道真の船が舵を返したから」という漢字表記由来はすべてウソです。「カンチukkanチッシル＝大雨でどっと下る出水（繰り返し表現）の山」	×		
今津天満宮	平安前期	平安／鎌倉	岩国市	※川端。	◎		
高森天満宮	平安前期	平安／鎌倉	岩国市	※川端。	◎		
上野天満宮	平安中期	平安／鎌倉	名古屋市千種区	※名古屋市千種区清明山で創祀。川端ではない。	×	◎（川端）の数	37
松下社	平安中期	平安／鎌倉	伊勢市	※川端。	◎	△（地勢不明）の数	31
北菅大臣神社	平安中期	平安／鎌倉	京都市下京区	※統計に入れない。	△	×（川端ではない）の数	30
天満神社	平安後期	平安／鎌倉	川崎市幸区下平間	※川端。	◎	「平安時代」の「天満宮」が「川端」の確率	55%
新町天神神社	1201～1204年	平安／鎌倉	大垣市	※もと牛屋村鎮座。川端。	◎		
岡崎天満宮	1217年	平安／鎌倉	岡崎市	※もともと菅原道真が祭神ではない。統計に入れない。	△		
長良天神神社	1219年～1221年	平安／鎌倉	岐阜市	※川端ではない。	×		
廿日市天満宮	1220年	平安／鎌倉	廿日市市	※川端ではない。海沿い。	×		
水田天満宮	1226年	平安／鎌倉	筑後市	※矢部川の氾濫原。川端とする。池畔。	◎		
西向天神社	1228年	平安／鎌倉	新宿区	※川端ではない。	×		
芳賀天満宮	1233年	平安／鎌倉	芳賀郡芳賀町	※川端。	◎		
高鳥天満宮	1234年	平安／鎌倉	邑楽郡板倉町	※川端。	◎		

硯井天満宮	1234年	平安／鎌倉	玉野市	※川端。「道真が湧き水を硯に入れ云々」の由緒はもちろん記紀、風土記と同類のウソ。「シチュルイ=山の走り根が溶けているところ=山の走り根がぬかるんでいるところ」。	◎		
於保多神社	1263年	平安／鎌倉	富山市	※錦重山浄禅寺で創祀。川端。	◎		
梅安天満宮	1264年～1274年	平安／鎌倉	中間市	※惣社山で創建。川端ではない。	×		
十島菅原神社	1278年～1288年	平安／鎌倉	球磨郡	※川端。	◎		
椿原天満宮	1297年	平安／鎌倉	金沢市	※丹波屋敷で創祀。丹波屋敷の場所が不明。統計に入れない。	△		
藤坂菅原神社	1298年	平安／鎌倉	枚方市 藤阪天神町	※川端ではない。	×		
青木天満宮	1300年	平安／鎌倉	久留米市	※川端。	◎		
加納天満宮	1300年代	平安／鎌倉	岐阜市	※上加納で創祀。川端ではない。	×		
北田天満宮	1308年	平安／鎌倉	双葉郡檜葉町	※川端。	◎		
菅原神社	1319年～1321年	平安／鎌倉	町田市	※当初井出の沢の山上で創祀。川端ではない。	×		
町田天満宮	1319年～1321年	平安／鎌倉	町田市	※柚木大沢村で創祀。詳細不明。統計に入れない。	△	◎（川端）の数	48
高田天満宮	1325年	平安／鎌倉	横浜市港北区	※川端ではない。	×	△（地勢不明）の数	34
盛岡天満宮	鎌倉	平安／鎌倉	盛岡市	※盛岡藩主南部氏が三戸で祀る。川端。	◎	×（川端ではない）の数	38
那珂湊天満宮	鎌倉	平安／鎌倉	ひたちなか市	※川端。	◎	「平安／鎌倉時代」の「天満宮」が「川端」の確率	56%
大谷四天神(西の天満宮、北野天満宮、高木天満宮、峯壇天満宮)	南北朝頃	南北朝／室町／戦国	西村山郡朝日町	※川端。	◎		
菅原神社	1335年	南北朝／室町／戦国	田川郡福智町	※金田村宮床河原で創建。川端。	×		
深志神社	1339年	南北朝／室町／戦国	松本市	※川端。もともと諏訪明神が祭神。菅原道真が祭神ではない。統計に入れない。	△		
古熊神社	1373年	南北朝／室町／戦国	山口市	※川端ではない。	×		
桃山天満宮	1390年	南北朝／室町／戦国	京都市伏見区	※川端ではない。蔵光庵という寺の境内社。統計に入れない。	△		
天神ノ森天満宮	1394年～1428年	南北朝／室町／戦国	大阪市西成区	※川端ではない。上町台地。大阪湾沿い。	×		
鶴岡天満宮	1469年～1486年	南北朝／室町／戦国	鶴岡市	※鶴ヶ岡城内（大宝寺城）西御門付近に創建。濠端。統計に入れない。	△		
平河天満宮	1478年	南北朝／室町／戦国	千代田区	※梅林坂上で創建。川端。平河川河口。	◎		
佐間天神社	1491年	南北朝／室町／戦国	行田市	※城内。統計に入れない。	△		
永谷天満宮	1493年	南北朝／室町／戦国	横浜市港南区	※川端。	◎		
長草天神社	1494年	南北朝／室町／戦国	大府市	※川端。	◎		
萩原天神社	1503年	南北朝／室町／戦国	大分市	※創建地不明。統計に入れない。	△		
荒平天神(菅原神社)	1532年～1554年	南北朝／室町／戦国	鹿屋市	※川端ではない。海沿い。	×		
桜天神社	1538年	南北朝／室町／戦国	名古屋市中区	※那古野城内。統計に入れない。	△		
柳津天神神社(北天神神社)	1557年	南北朝／室町／戦国	岐阜市	※川端。	◎		
内牧菅原神社	1558年～1570年	南北朝／室町／戦国	阿蘇市	※内牧城の守護神。城内に勧請。統計に入れない。	△		



長根天満宮	室町	南北朝／室町 ／戦国	八戸市	※根城の東に創建。川端。	◎		
下保谷天神社	1573年～ 1591年	南北朝／室町 ／戦国	西東京市	※もともと法華宗の三十番神信仰。 統計に入れない。	△		
天満神社	1573年～ 1592年	南北朝／室町 ／戦国	宝塚市	※川端。	◎		
火除天満宮	1579年	南北朝／室町 ／戦国	京都市下京区	※六条通周辺で創祀。川端。	△		
福良天満宮	1590年頃	南北朝／室町 ／戦国	白杵市	※鎮南山の麓に鎮座。地勢の詳細不 明。統計に入れない。	△	◎（川端）の数	8
牛嶋天満宮	1596年～ 1615年以前	南北朝／室町 ／戦国	佐賀市	※もと旧蓮池町牛島に鎮座。川端。	◎	△（地勢不明）の数	12
総福寺天満宮 (日根野天満宮)	安土桃山	南北朝／室町 ／戦国	泉佐野市	※境内社。統計に入れない。	△	×（川端ではない）の数	4
高天神社	戦国	南北朝／室町 ／戦国	掛川市	※山城の守護。統計に入れない。	△	「南北朝／室町／戦国時代」の 「天満宮」が「川端」の確率	67%
白濁天満宮	1603年	江戸	松江市	※もと富田城内に鎮座。統計に入れ ない。	△		
高台寺天満宮	1606年	江戸	京都市東山区	※高台寺の鎮守。統計に入れない。	△		
杵築天満社	1615年～ 1676年	江戸	杵築市	※杵築据場で創建。川端。	◎		
玉泉寺天満宮 (泉野菅原神社)	1617年	江戸	金沢市	※川端。	◎		
千姫天満宮	1623年	江戸	姫路市	※川端。	◎		
菅原天満宮	1624年～ 1643年	江戸	大阪市東淀川区	※川端。	◎		
厚狭天満宮	1625年	江戸	山陽小野田市	※川端。もともと枝村家の鎮守。創 建地不明。統計に入れない。	△		
松森天満宮	1625年	江戸	長崎市	※今博多町で創建。川端。	◎		
新庄天満宮	1629年	江戸	新庄市	※新庄藩主の氏神。角館に創建。川 端。	◎		
立帰天満宮	1637年～38 年	江戸	福岡市中央区	※もともと筑前御笠郡武蔵寺村の森 天神で祀られていた道真が彫ったと される木像がご神体。川端ではな い。「立帰＝チューテックカウンリ ク＝岬のほとりにある高台」。決し て無事凱旋できたから立帰ではな い。	×		
菅原神社	1648年～ 1652年以前	江戸	秋田市八橋	※もと天王町天王北野に鎮座。川端 ではない。	×		
手取天満宮	1650年	江戸	熊本市	※手取被分町で創祀。川端。	◎		
北野天神社	1654年	江戸	江南市	※川端ではない。	×		
小松天満宮	1657年	江戸	小松市	※川端。	◎		
久里浜天神社	1660年	江戸	横須賀市	※川端。	◎		
菅原神社	1665年	江戸	世田谷区	※川端ではない。	×		
山田天満宮	1672年	江戸	名古屋市北区	※春日井郡山田郷で創祀。川端。	◎		
津秦天満宮	1672年以前	江戸	和歌山市	※川端。	◎		
菅原神社	1679年	江戸	大東市	※川端。	◎		
赤土天満宮	1688年	江戸	常陸太田市	※川端。	◎		
弘前天満宮	1689年	江戸	弘前市	※創建に諸説あり、不分明。統計に 入れない。	△		
御殿山天満宮	1695年	江戸	松本市	※川端ではない。御殿の裏山。統計 に入れない。	△		
雨垂天神社	1695年	江戸	掛川市	※川端ではない。	×		
柳井天満宮(菅 原神社)	1697年	江戸	柳井市	※川端。	◎		
梅園身代り天満 宮	1700年	江戸	長崎市	※川端ではない。	×		
綱敷天満神社	1720年	江戸	今治市	※川端。「綱敷＝テュンナイチャケ ＝谷川の岸のところ」ではないか。 「漁網を敷物代わりにした」という 由緒は明らかにウソ。	◎		
松葉山天満宮	1751年～ 1764年	江戸	熊野市	※川端。	◎		

東林寺天満宮	1752年	江戸	久留米市	※川端ではない。東林寺の境内社。統計に入れない。	△		
岩津天満宮	1759年	江戸	岡崎市	※もと信光明寺の境内社。統計に入れない。	△		
金沢神社	1794年	江戸	金沢市	※兼六園内。統計に入れない。	△		
徳島眉山天神社	1809年	江戸	徳島市	※川端ではない。潮音寺の鎮守。統計に入れない。	△		
平田鳴宮天満宮	1844年	江戸	彦根市	※川端。	◎		
吉田天満宮	1846年	江戸	燕市	※川端。	◎		
金麗社	1860江戸以前	江戸	美祢市	※川端。	◎	◎ (川端) の数	21
桜山天満宮	1860江戸前期	江戸	宮津市	※もと後背の桜山に鎮座。川端。	◎	△ (地勢不明) の数	9
菅原神社	1860江戸前期	江戸	枚方市 長尾宮前町	※川端ではない。	×	× (川端ではない) の数	7
蛭雪天神	1860江戸中期	江戸	新宿区	※横寺町 (牛込) で創祀。川端。白鳥池沿い。	◎	「江戸時代」の「天満宮」が「川端」の確率	75%
河上神社天満宮	923年～923年以前		洲本市	※もともと菅原道真が祭神ではない。河上大神。統計に入れない。	△		
北白川天満宮	平安前期以前		京都市左京区	※川端。もともと菅原道真が主祭神ではない。統計に入れない。	△		
長岡天満宮	1498年以前		長岡京市	※池畔。	×		
吉田天神社	1532年以前		豊橋市	※花田町で創祀。川端。	◎		
菅原神社(上野天神宮)	1581年以前		伊賀市	※もと上野山平楽寺の伽藍神。統計に入れない。	△		
浜天神社	1582年以前		掛川市	※もと掛川城周辺に鎮座。川端。	◎		
北野天満社	1591年以前		八王子市	※川端ではない。	×		
長洲天満宮	1607年以前		尼崎市	※川端ではない。	×		
唐津天満宮	1619年以前		唐津市	※唐津藩藩主寺澤広高が祀っていた神社。創建地不明。統計に入れない。	△		
天神中条天満宮	1644年以前		南巨摩郡富士川町	※川端。	◎		
亀戸天神社	1646年以前		江東区	※川端。	◎		
菅生神社	1661年以前		堺市美原区	※川端。	◎		
曾根田天満宮	1746年以前		福島市	※川端ではない。	×		
天満天神社	1772年以前		彦根市	※もともと菅原道真が主祭神ではない。合祀されたのは清崎町尻切山と賀田山町亀山の祭神。ともに川端。	◎		
有松天満社	1789年以前		名古屋市緑区	※もと東海道の祇園寺境内。川端。統計に入れない。	△		
賀茂神社天満宮	戦国以前		米子市	※川端ではない。「加茂の浦」は「コム＝持ち手の曲がり(お椀型の山)」がたくさんある場所の意。→googleストリートビュー	×		
藤川天神(菅原神社)	戦国以前		薩摩川内市	※川端ではない。	×		
大泉天神北野神社	江戸初期以前		練馬区	※もともと法華宗の三十番神信仰。統計に入れない。	△		
天神宮	江戸以前		鎌倉/佐久市、大神宮神社境内社	※もと稲荷町天神堂に鎮座。川沿い。	◎		
天満町天神	江戸以前		玉名市	※川端。	◎		
天満宮	江戸以前		斐崎市	※水路沿いだが、過去の地勢不明。統計に入れない。	△	◎ (川端) の数	9
菅原院天満宮神社	不明		京都市上京区	※ 統計に入れない。	△	△ (地勢不明) の数	9
生根神社	不明		大阪市住吉区	※住吉大社の摂社。上町台地。大阪湾沿い。統計に入れない。	△	× (川端ではない) の数	6
菅原天満宮	不明		奈良市	※菅原道真の生誕地の伝承あり。もともと菅原氏の祖である土師氏の祖神を祀ったのが起源。川端	◎	「平安/鎌倉時代」の「天満宮」が「川端」の確率	60%

「天神社」が「川端」の確率

△（地勢不明）の数	80
×（川端ではない）の数	58
「天満宮」が「川端」の確率	60%

「稲荷社」の地勢が「川端」の確率

© 2022 Kagetsu Kinoe

※大河川の場合は川から500m、中河川の場合は300m、小河川の場合は100m、小川の場合は50mを「川端」の目安とします。河岸段丘も川幅として考慮します。

※神社は合祀令等、統廃合が激しいので、江戸期以前創建のものに限り、創建時期や由緒が不明なものは統計に入れません。数字は創建年。

※城、屋敷に付属の神社、境内社は、統計に入れません。

神社名	創建	時代区分	所在地	地勢	川端判定	高台判定	「稲荷社」が「川端」の確率		「稲荷社」が「高台」の確率	
玉造稲荷神社	第十一代 垂仁天皇	奈良以前	大阪府大阪市中央区玉造/旧府社	※玉作岡に鎮座。高台。垂仁天皇は、実在するならば3世紀中頃の人物。邪馬台国の台与の時代。川端ではない。	×	○				
稲荷神社	593年～ 628年	奈良以前	兵庫県多可郡多可町中区靴屋/旧県社	※高台。川沿い。	◎	○				
笠間稲荷神社	651年	奈良以前	茨城県笠間市	※日本三大稲荷のひとつ。川端。高台ではない。「笠間便覧では、白雉年間、佐白山に鎮座していた六座のうちの稲荷社を、現在の地にあった胡桃樹の下に奉遷したものという」(wikipedia引用)であれば、辻褄が合う。「笠間=コツチャルマ=谷の入口の川」。	◎	×				
市原稲荷神社	653年	奈良以前	愛知県刈谷市司町	※亀狭山(現亀城公園)に創建。河岸段丘の高台。	◎	○				
越中稲荷神社	701年	奈良以前	富山県富山市稲荷町	※中新川の砂田(旧宮川村の地)で創建。後世の開発で地勢不明。統計に入れない。	△	△				
半田稲荷神社	711年 or1113年 ～1117年	奈良以前	東京都葛飾区東金町	※川沿い。高台ではない。	◎	×				
箭弓稲荷神社	712年	奈良以前	埼玉県東松山市	※都幾川と市野川に挟まれた東松山台地に鎮座。	◎	○				
十番稲荷神社 (竹長稲荷神社)	712年 or822年	奈良以前	東京都港区麻布十番	※もと竹長稲荷神社(旧永坂町鎮座)と末広神社(1596～1615年/旧坂下町鎮座)が合祀遷座。麻布永坂町は高台。日比谷入江の谷沿い。	◎	○	◎(川端)の数	7	○(高台)の数	8
稲荷神社	715年	奈良以前	兵庫県神戸市東灘区	※川沿いの高台。	◎	○	△(地勢不明)の数	1	△(地勢不明)の数	1
最上稲荷	752年	奈良以前	岡山県岡山市北区高松	※高台。川沿いではない。	×	○	×(川端ではない)の数	3	×(高台ではない)の数	2
烏子稲荷神社	783年	奈良以前	群馬県高崎市上小碓町	※上小碓稲荷山古墳の墳丘上に鎮座。高台。	×	○	「奈良時代以前」の「稲荷社」が「川端」の確率	70%	「奈良時代以前」の「稲荷社」が「高台」の確率	80%
稲荷神社	830年	平安/鎌倉	福岡県田川郡福智町金田	※河岸段丘上。	◎	○				
鐵砲洲稲荷神社	841年	平安/鎌倉	東京都中央区湊	※荏原郡板田郷(霞が関2丁目周辺)で創祀。日比谷入江を望む高台か。判然としないので統計に入れない。	△	△				
竹駒神社	842年	平安/鎌倉	宮城県岩沼市稲荷町	※川端。高台ではない。	◎	×				
武信稲荷神社	859年	平安/鎌倉	京都府京都市中京区	※高台ではない。川沿いではない。藤原氏の学問所である勸学院と西側一帯に療養施設である延命院があり、神社はその守護社。	×	×				
花山稲荷神社	903年	平安/鎌倉	京都府京都市山科区西野山欠/上町	※川端。高台。丘陵上。	◎	○				
中台稲荷神社	903年以前	平安/鎌倉	板橋区若木	※中台の谷の際の武蔵野台地上。	◎	○				
笠種稲荷神社	938年～ 947年	平安/鎌倉	神奈川県横浜市神奈川区東神奈川	※もと稲荷山中腹に鎮座。場所不明。統計に入れない。	△	△				
稲荷神社	939年	平安/鎌倉	島根県雲南市大東町大東下分	※川端。創建地不詳。統計に入れない。	△	△				
為当稲荷神社	957年～ 960年	平安/鎌倉	愛知県豊川市為当町	※河岸段丘上。	◎	○				
稲荷神社	977年	平安/鎌倉	福島県大沼郡三島町西方	※川端の高台。	◎	○				
門田稲荷神社	1056年	平安/鎌倉	栃木県足利市下野國一社八幡宮内	※もと現在地より南西の門田郷に鎮座。門田の比定地が不明。統計に入れない。	△	△				
斗堂稲荷神社	1187年	平安/鎌倉	宮城県大崎市古川	※川端の高台。	◎	○				
佐助稲荷神社	1190～ 1199年	平安/鎌倉	神奈川県鎌倉市佐助	※隠れ里の稲荷(⇒googleストリートビュー)。「カクネテユウテウク/イナリクワ=形が弓である岬/幣の高台(高台の祭場)」。高台。川沿いではない。	×	○				
三崎稲荷神社	1190年～ 1199年	平安/鎌倉	東京都千代田区神田三崎町	※本郷台地(本郷一丁目)で創祀。神田川沿い。	◎	○				

判官稲荷神社	1192平安末期	平安／鎌倉	岩手県宮古市沢田	※川端の高台。	◎	○					
稲荷神社	1218年	平安／鎌倉	日光市稲荷町	※もと稲荷川の下流域に鎮座。川端の高台。江戸期の土石流により、現在地に遷座。	◎	○	◎ (川端) の数	11	○ (高台) の数	11	
稲荷神社	1221年	平安／鎌倉	鹿児島県日置市東市来町湯田	※もと南方の国道3号沿いの田の中に鎮座。国道三号沿いが高台。川沿いではない。	×	×	△ (地勢不明) の数	5	△ (地勢不明) の数	5	
出世稲荷神社	12世紀	平安／鎌倉	島根県松江市寺町	※もと現松江城の地 (亀田山／旧末次山) に鎮座。高台。	◎	○	× (川端ではない) の数	3	× (高台ではない) の数	3	
天開稲荷大明神	1333鎌倉末	平安／鎌倉	福岡県太宰府市	※太宰府天満宮の末社。もとは宮司屋敷内に鎮座。高台だが、信憑性にかけると統計に入れない。	△	△	「平安／鎌倉時代」の「稲荷社」が「川端」の確率	79%	「平安／鎌倉時代」の「稲荷社」が「高台」の確率	79%	
豊川稲荷(円福山妙蔵寺)	1441年	南北朝／室町／戦国	愛知県豊川市豊川町	※豊川の河岸段丘上。	◎	○					
千代保稲荷神社	1469年～1487年	南北朝／室町／戦国	岐阜県海津市海津町	※高台ではない。川沿いでもない。	×	×					
稲荷神社	1500年代	南北朝／室町／戦国	板橋区四葉	※荒川低地際の武蔵野台地上。	◎	○					
稲荷社	1509年	南北朝／室町／戦国	愛知県碧南市	※川端の高台。	◎	○					
稲荷神社	1524年	南北朝／室町／戦国	愛知県岡崎市羽根町	※微妙に高台。河岸段丘上。	◎	○					
稲荷神社	1528年	南北朝／室町／戦国	岩手県岩手郡岩手町沼宮内	※川端の高台。	◎	○					
皆中稲荷神社	1533年	南北朝／室町／戦国	東京都新宿区百人町	※新宿新大久保間は山手線で最も標高が高い (※参考：東洋経済)。神田川の谷沿い。	◎	○					
稲荷神社	1536年	南北朝／室町／戦国	鹿児島県鹿児島市郡山町	※藤ヶ山頂上で創祀。川端ではない。	×	○					
稲荷神社	1537年	南北朝／室町／戦国	愛知県知多郡東浦町石浜	※河岸段丘上。	◎	○					
三河島稲荷神社	1557年or1579年	南北朝／室町／戦国	荒川区荒川	※荒川の氾濫原。高台ではない。	◎	×	◎ (川端) の数	11	○ (高台) の数	11	
鼻顔稲荷神社	1558年～1570年	南北朝／室町／戦国	長野県佐久市岩村田鼻顔	※河岸段丘上。	◎	○	△ (地勢不明) の数	0	△ (地勢不明) の数	0	
稲荷神社	1571年	南北朝／室町／戦国	宮崎県北諸県郡三股町樺山	※もと庄内村大字安永に鎮座。高台。川端。	◎	○	× (川端ではない) の数	2	× (高台ではない) の数	2	
与次郎稲荷神社	1596年～1615年	南北朝／室町／戦国	秋田県秋田市千秋公園	※もと久保田城三ノ丸八幡山に鎮座。八幡山なので、当然川端の高台。	◎	○	「南北朝／室町／戦国時代」の「稲荷社」が「川端」の確率	85%	「南北朝／室町／戦国時代」の「稲荷社」が「高台」の確率	85%	
綾瀬稲荷神社	1614年	江戸	東京都足立区	※川沿い。高台ではない。	◎	×					
稲荷神社(御陣屋稲荷神社)	1616年	江戸	静岡県島田市柳町	※高台ではない。川沿い。	◎	×					
扇森稲荷神社	1616年or古墳時代	江戸	大分県竹田市	※川端の高台。	◎	○					
城山稲荷神社	1638年	江戸	島根県松江市殿町	※御堀端。松江城内。統計に入れない。	△	△					
波除稲荷神社	1659年	江戸	東京都中央区築地	※高台ではない。日比谷入江沿い。	◎	×					
稲荷社	1665年	江戸	愛知県岩倉市	※川端ではない。高台ではない。	×	×					
祐徳稲荷神社	1687年	江戸	佐賀県鹿島市	※川端の高台。	◎	○					
鵜稲荷神社	1703年	江戸	長野県佐久市岩村田	※河岸段丘上。	◎	○					
稲荷神社	1707年	江戸	岡山県倉敷市茶屋町	※高台ではない。川沿いではない。	×	×					
稲荷神社	1726年	江戸	三重県津市新東町	※水路沿い。高台ではない。	△	△					
稲荷神社	1730年	江戸	青森県下北郡大間町大間	※川端の高台。	◎	○					
稲荷神社	1733年	江戸	青森県三戸郡五戸町野月	※川端の高台。	◎	○					
葛塚稲荷神社	1733年	江戸	新潟県新潟市北区葛塚	※新発田藩家老が祀っていた稲荷神を遷座。「葛塚=クツチャルチャケ=喉口の (福島潟の入口の) 岸のところ」。高台ではない。	◎	×					
八橋神社	1781年～1789年	江戸	福岡県福岡市	※もと鳥飼八幡宮内に鎮座。いずれにしても高台ではない。川沿い。	△	△					
穴守稲荷神社	1804年～1830年	江戸	東京都大田区羽田	※高台ではない。日比谷入江沿い。	◎	×	◎ (川端) の数	12	○ (高台) の数	7	
招福稲荷神社	1830年	江戸	秋田県秋田市保戸野通町	※川端。高台ではない。	◎	×	△ (地勢不明) の数	3	△ (地勢不明) の数	3	
稲荷神社	1859年	江戸	青森県十和田市三本木	※千歳森稲荷神社から村の移動に伴って勧請。千歳森稲荷神社は川端ではない。高台。	×	○	× (川端ではない) の数	3	× (高台ではない) の数	8	
鐵砲稲荷神社	1860江戸初期	江戸	東京都新宿区高田馬場	※神田川を望む高台。	◎	○	「江戸時代」の「稲荷社」が「川端」の確率	80%	「江戸時代」の「稲荷社」が「高台」の確率	47%	
王子稲荷神社 (関東稲荷総社)	平安以前		東京都北区岸町	※もと荒川の河岸段丘上に鎮座。今でも高台。	◎	○			※戦国以前の統計に含める		

稲荷神社	1204年～ 1206年以 前		秋田県鹿角市花輪 字寺坂	※川端の高台。	◎	○			※戦国以前の統計に含める
岩室稲荷神社	1293年～ 1299年以 前		京都府舞鶴市吉坂	※川端。高台。	◎	○			※戦国以前の統計に含める
稲荷神社	1446年以 前		青森県黒石市甲大 工町	※川端の高台。	◎	○			※戦国以前の統計に含める
稲荷神社	1593年以 前		静岡県浜松市南区 飯田町	※高台ではない。川沿い。	◎	×			※戦国以前の統計に含める
富岡稲荷神社	1673年以 前		熊本県天草郡苓北 町富岡	※川端ではない。海沿い、池畔の高 台。	×	○			
稲荷神社	1689年以 前		千葉県浦安市当代 島	※江戸川区小岩町から遷座。川端。 いずれも高台ではない。	◎	×	◎ (川端) の数	8	○ (高台) の数 7
稲荷神社	1860江戸 後期以前		板橋区宮本町	※もと清水児童遊園に鎮座。一丈ば かりの高台に祀られていた小祠だっ た (※参考：東京都神社庁HP)。湧 水の際。	×	○	△ (地勢不明) の数	0	△ (地勢不明) の数 0
稲荷神社	1860江戸 初期以前		愛媛県大洲市新谷 ／旧泉社	※「古き時代は、神南山を神域とし て祭祀が行われていた」 (※愛媛県 神社庁引用) 川端の高台。	◎	○	× (川端ではない) の数	2	× (高台ではない) の数 3
稲荷神社	1860江戸 中期以前		静岡県焼津市中新 田	※高台ではない。川沿い。	◎	×	「創建時期不明」の「稲 荷社」が「川端」の確率	80%	「創建時期不明」の「稲荷 社」が「高台」の確率 70%

「稲荷社」が「川端」／「高台」の確率	◎ (川端) の数	49	○ (高台) の数	44
	△ (地勢不明) の数	9	△ (地勢不明) の数	9
	× (川端ではない) の数	13	× (川端ではない) の数	18
	「稲荷社」が「川端」の 確率	79%	「稲荷社」が「高台」の確率	71%